

西洋中世哲学史 第1回 (2018.06.12. 火)

1 「何故、この授業を受講するのか」に対する回答は、以下の通り。

5 専門科目として必要 (13 名), 教職の単位として必要 (4 名), 古代哲学史の続きとして (2 名), 火曜日は暇だから (2 名), 中世哲学, ユダヤ・イスラームの思想を学びたいから (2 名), 哲学史を学ぶため (1 名), 自由選択として (1 名), シラバスを見て (1 名)

2 「今まで、何語を学びましたか、または、学ぼうとしていますか」に対する回答は、以下の通り。

10 フランス語 (5 名), スペイン語 (4 名), 英語 (25 名), ドイツ語 (19 名), 中国語 (6 名), (古代) ギリシア語 (6 名), ラテン語 (8 名), サンスクリット (6 名), チベット語 (1 名), タガログ語 (1 名), アラビア語 (1 名), ヘブライ語 (1 名), ロシア語 (1 名), 韓国語 (2 名), 日本語 (1 名)

15 この授業では、西洋古典語 (ギリシア語・ラテン語) と西洋近代語 (イタリア語, フランス語, ドイツ語, 英語など) の文献に言及することが多くなるかもしれませんが, 原則として, 原典とその日本語訳を併記して示しますので, 原典の部分を読めなくても心配はいりません。安心して下さい。

3 質問等

Q.0 特に質問は浮かびませんでした。

A.0 質問が思い浮かばないような授業をして申し訳ありませんでした。

Q.1 テストないんですか?

20 A.1 今のところ, レポートをもって筆記試験にかえて, 成績評価しようと思いますが, どうしても筆記試験がよいという人がいれば, テストしましょうか?

25 Q.2 西洋古代哲学では, ヘラクレイトス, デモクリトス, アリストテレスなどの哲学者がおり, 西洋近現代では, デカルト, フーコー, ハイデガーなどの哲学者がおりますが, 中世哲学となると, 哲学者の名をあまりイメージできません。参考書目で挙げられている中世哲学史の本を読みたいです。

A.2 挙げられている哲学者がえらく偏っているのが興味深いですが, 中世は, いやというほど, 学ぶべき哲学者・神学者がいます。是非, 中世哲学史の本を読むとともに, 実際のテキスト (主にラテン語) を読んで下さい。

ちょっと, 思いつくだけでも, 以下のような人たちは重要です。

30 ボエティウス (c. 480-524) ラテン語

シンプリキオス (c. 500-533 以後) ギリシア語

オリュンピオドロス (6 世紀) ギリシア語

ヨアンネス・ダマスケヌス (650-750) ギリシア語

アルクィヌス (c. 730-804) ラテン語

35 アル=キンディー (c. 801-c. 866) アラビア語

ヨハネス・エリウゲナ (c. 810-877 以後) ラテン語

アル=ファラビー (c. 870-950) アラビア語

イブン=シーナー (980-1037) アラビア語, ペルシア語

アンセルムス (1033-1109) ラテン語

- ロスケリヌス (1050-1125) ラテン語
 シャンポーのギョーム (c. 1070-1121) ラテン語
 アベラール (1079-1142) ラテン語
 サン＝ティエリのギョーム (1058-1148) ラテン語
 5 クレルヴォーのベルナール (1090-1153) ラテン語
 サン＝ヴィクトルのフーゴー (c. 1096-1141) ラテン語
 ヒルデガルト・フォン・ビンゲン (1098-1179), ラテン語, この人は女性です.
 ペトルス・ロンバルドゥス (c.1100-1160) ラテン語
 アヴェロエス (イブン・ルシュド) (1126-1198) アラビア語 (主に残っているのは, ラテン訳)
 10 マイモニデス (1135/38-1204) ヘブライ語
 フィオーレのヨアキム (c. 1135-1202) ラテン語
 グロステスト (1168 以降-1253) ラテン語
 ヘイルズのアレクサンダー (1185 以降-1245) ラテン語
 アルベルトゥス・マグヌス (c. 1100-1274) ラテン語
 15 ボナヴェントウラ (c. 1117-1274) ラテン語
 ロジャー・ベイコン (c. 1119-c. 1292) ラテン語
 トマス・アクィナス (c. 1125-1174) ラテン語
 ライムンドゥス・ルルス (1235-1316) ラテン語
 ガンのヘンリクス (1240 以前-1293) ラテン語
 20 ブラバンのシゲルス (c. 1240-c. 1281) ラテン語
 エックハルト (c. 1260-c. 1328) ラテン語, 中高ドイツ語
 ヨハネス・ドゥンス・スコトゥス (1265/66-1308) ラテン語
 ダキアのボエティウス (?-1270) ラテン語
 ペトルス・ヒスパヌス (?-1277) ラテン語
 25 オッカム (1285-1347/49) ラテン語
 ビュリダヌス (1295-c. 1358) ラテン語

というように、1400 年以前にも、多くの人たちが、哲学、論理学、自然学その他の分野でめざましい研究を行なっています。この時期の哲学・思想は、けっして 17 世紀以降に劣っているどころか、領域によっては、近世の哲学を凌駕していると思います。最近、少しは日本語訳（もちろん、ラテン語で読むのが一番よろしいが、まだラテン語を学んでいないならば、日本語訳でもよろしいでしょう）が一般の人にも読めるようになりましたが（平凡社の『中世思想原典集成』全 20 巻、図書館でさがしてみてください）、まだ多くの人に知られていないのが残念です。そして、古代・中世全体について見通しを得るためには、例えば、クラウス・リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』平凡社ライブラリーが、特に、中世については、クラウス・リーゼンフーバー『中世思想史』平凡社ライブラリーが、よいかもかもしれません。これらの本には、巻末に参考となる文献表がついていますから、それらを更に読み進めて行くことができます。

Q.3 ギリシア語の「ロゴス」とキリスト教の聖書の言葉という意味の「ロゴス」は発音だけおなじであったために、混同して用いられたのでしょうか。

A.3 新約聖書、例えば、「ヨハネによる福音書」冒頭の「はじめにことばがあった」の「ことば」はたしかに、「ロゴス」の訳ですが、「ことば」「御言葉（みことば）」とか訳さざるをえないから訳しているのが、当時、使われていたコイネー（ギリシア語）の「ロゴス」の意味としても「ことば」の他に、というより、同時に「理性」「知性」「理（ことわり）」という意味が込められてい

たので、単に、混同ということではないと思います。

ゲーテの『ファウスト』第1部の中で、ファウストが、「ヨハネによる福音書」冒頭の「はじめにことばがあった」をドイツ語に訳し直す場面があります(1224行以降)。「はじめに意味(こころ)ありき」「はじめに力ありき」「はじめに業ありき」というように、このどれも許容するよう
5 な意味を「ロゴス」はもっているということです。

Q.4 レポートについてですが、予備レポートは pdf ファイルから任意に2つ選んでと書かれています。pdf ファイル1つにつき、2000字程度のレポートを書けばよいのでしょうか。

A.4 そうではなくて、2,000字程度のレポートを1本だけ書いて下さい。それから、訂正しよう
10 と思っているのですが、レポートのネタに使う(題材にする、批判、論評の対象にする) pdf は、任意に2つ、としていますが、1つでも、2つでも、4つでもかまわないことにします。少なくとも1つ取り上げればよいことにしようと思います。

Q.5 やはり1コマはねむいです。これからが心配です。

A.5 これから、夏になるので、冬の1コマよりもまだましです。照明装置がなかったこともあり、
15 デッカーの若い頃(20世紀の前半)でも、朝は、7時から授業をしていたようです。

Q.6 先生はラーメンが好きですか？最近二郎系ラーメンのお店ができて行こうかどうか迷っています。

A.6 好きですが、最近の傾向は知りません。迷っているなら、行ってみてはどうですか。若い頃は、
20 (以上は20年前の京都市内の話です)。最近は袋入りの「辛」です。以前、田口のほうに美味しいラーメンやさんがあったのになくなってしまったのは残念です。

Q.7 コンマとピリオドの使い分けをする理由は何ですか？

Q.7' 先生が横書きのとき、コンマとピリオドを使う理由が知りたいです。

A.7,7' 横書きは、日本語でも、", "と". "というルールに従っています。日本語で横書き、
25 というのは、理系の文献(数学とか)の他に、英和辞典や独和辞典など、どうなっているか、確かめたことはありますか。各講義・共通のファイルの

C_7「句読点に苦闘!？」(『生協だより』103号[2006.04.25]より) : pdf ファイルへ
を読んで下さい。

Q.8 直接引用と間接引用の使い分けは、前者が重要度が高く、後者は重要度が低い、とい
30 た認識でしょうか。

A.8 というより、直接引用するのは、本来、一語一語、言われていることを取り上げて、批判
したり、検討する必要があるときで、間接引用は、言われていることの内容がわかればよい、
という場合です。が、もちろん、直接引用するほうが、読者には、生の情報がそのまま伝わるので、
インパクトはあります。

Q.9 直接引用と間接引用のやり方についてはじめて知ることが多くてとてもタメになりました。
35 た。論文を書くのって難しいなと思って、卒業論文がますます嫌になりました。

A.9 自分が興味・関心をもって追求したくなるテーマが見つければ、嫌ではなくなると思
います。

Q.10 近現代の思想を中心に学んでいきたいのですが、ギリシア語は学んだ方がよいのでし
40 うか。

A.10 良いと思います。もつとも、何語にせよ、文法をやっただけでは、読めるようになりま
せんが(読むための演習や講読の授業でテキストを読む訓練が必要です)、単語のレベルでは、
例えば、フッサールが、Noesis と Noema というとき、どう違うのかがわかる、という利点があり
ます。

Q. 11 私は 持つ もつ の違いは物理的か抽象的かという点で使い分けるのかと思っていたが、これは浅い考えなのでしょうか。

A. 11 浅い考えではありませんし、そういう区別をしている書き手・読み手はまだ絶滅していませんから、これから、その区別をまもるだけでなく、他の人にも伝えて下さい。

5 Q. 12 なぜ4C~14, 15Cを中世と呼ぶのかは考えたこともなくて興味深かったです。

Q. 12' 歴史の区分というのはあいまいなイメージがありましたが、やはり中世の定義は難しいなと感じました。

Q. 12'' 西洋中世という時代の区分がさまざまに検討されていたことがよく分かりました。そういった検討の中で新しきもの=善いものという発想が生まれたのが興味深かったです。

10 A. 12, 12' 中間の時代、という位置づけは、何と何の中間とみなすか、という問題ですから、時間の流れ、歴史全体をどう見ているか、という大きな問題の一部なのです。

Q. 13 「神の国」についてもっと知りたい。

A. 13 アウグスティヌスの『神の国』は、岩波文庫（5冊）で読めますから、読んでください。

15 Q. 14 「『知』と『信』の関係」というお言葉がありましたが、やはり哲学と宗教は切り離せない関係にあるのでしょうか。

A. 14 宗教をどうとらえるかによりますが、「知る」ということと「信じる」ということの間関係を考えることは、哲学の仕事のひとつですし、「知る」対象（=知られる対象）、そして、「信じる」対象（=信じられる対象）が何か、という問題にまで及ぶと、後者は、宗教学、宗教哲学という分野が扱うことになるでしょう。

20 Q. 15 個人的にパリが「わらの町」だったことはショッキングでした。

A. 15 私の知り合いに、古代末期までのキリスト教美術をやっている人がいますが、彼女にとっては、石造りの古代のイタリアの都市、とくに、ローマが基準なので、その当時のパリは、といえば、農業国らしく、わらの町だったわけです。

25 Q. 16 思想の歴史が分断されたものではなく、優勢だったものが変わっていくのはなるほどと思いました。人の歴史と違って誰かが倒されて実権が移ったのとは違うからですね。

A. 16 理解されず伝わらなくなったものや、組織内で何を研究するかを決める実権を握ったものが影響力をもつ、という現象はあります。

西洋中世哲学史 第2回 (2018.06.14. 木)

Q.-4 毎日寝むくて (ママ, 眠くて) 大変です. おすすめの寝むけ (ママ, 眠気) 覚ましの方法があったら教えて下さい.

A.-4 強力な目覚ましも, 自動起き上がりベッドも, ガムもいずれ効かなくなるそうです. コズミック・レイディオの木村カエラによると, 自分より先に起床して, 自分を叩き起こしてくれる人を確保するのが一番だそうです.

Q.-3 先生は何故そんなにうったえられたがっているのでしょうか.

Q.-3' 先生はやめたがっていますが, なぜ教員になったのか.

A.-3, -3' 就職する前は, こんな目に遭うとは思わなかったからです. 某 (有名な) 先生のように, 学生に直接 (物理的に) 暴力を振るうと, 大学から懲戒処分を受けて, 休職とか停職命令が出て, 教員の経歴上はマイナスの評価になりますが, そんなことより何より, 休職とか停職命令がでて期間中は, 授業をしなくてよい (大学が授業をさせない), つまり, 学生と接触しなくてよい, 一人になれる, 自由な時間が得られる, ということにあこがれているわけです. 上杉鷹山のもとで藩政改革に活躍した, 竹俣当綱 (たけのまたまさつな) の気持ち, と言えはわかるでしょうか.

Q.-2 文の内容がどういうことを言っているのかよく分からなくて難しかったです.

A.-2 わかりやすい提示の仕方ができなくて申し訳ありません.

Q.-1 読めないこともないのですが, プリントの文字がつぶれて見えにくいです. 次のプリントから別のフォントにしてもらうことは可能でしょうか.

A.-1 不可能です. もとの原稿は, MacOS 9.xx の Osaka (フォント) ですから, これがシステム・フォントで最も読みやすいフォントです. フォントを変更するには, 古い MacOS 9.xx を起動できるハードが必要です. これは, フォントの問題ではなくて, 文字がつぶれたりして読みにくいのは, 原稿のコピーのコピーをスキャナで pdf 化しているからです. ですから, スキャナとプリンタの解像度を上げると, オリジナルに近づけることはできると思います. (虫食いで穴があいていたり, 水でインクが流れていたりして, 判読が困難, ときに, 不可能であるような文書を, 推測も交えて, 読む訓練が文献学には必要です)

Q.0 ターム制になって質問に答えるのがとても大変そうなので今回の質問は控えておきます.

A.0 お気遣いありがとうございます. が, 気にせず, 質問して下さい. 火曜日と木曜日の質問に, 翌週の火曜日にまとめて答える, という方法も考えられますから.

Q.1 哲学で実地調査というのは, 原典を読むことだという話があったと思いますが, 「実地」をどう定義するのか (原典がおいてある場所なのか, その原典が書かれた地点であるのか) 疑問に思いました.

A.1 原典 (テキスト) そのものが, 実地であり, 現場です. 物理的に置かれてある場所は関係ありません. ただ, 書かれた土地や書いた著書を取りまく環境は, テキストの中に反映されていると考えます.

C_1 ショーペンハウアー 「哲学史について」「大学の哲学について」より: pdf

の「哲学史について」を読んで下さい.

Q.2 「,」と「。」あるいは「,」と「.」は横書きの時には日本語でも用いられると, お話されましたが, それはパソコンで打つ時以外, 例えば手書きの時にも「,」と「。」ではなく, 「,」と「.」を用いた方が良いでしょうか.

Q.2' 横書きの日本語文書でコンマとピリオドが当然だったなんて驚きでした. 日本語は「,」や「。」が縦でも横でも普通だと思いついていましたが, よく考えると横書きの本全てにおいて句

読点が用いられていたという確信もなく思い込みは恐ろしいとふと感じました。

Q. 2' 心理学を専攻していますが、心理学の日本語論文もコンマとピリオドを使うのが正式のようです。

A. 2, 2', 2'' その文書がどのような文書かによって区別すればよいと思います。つまり、学会に
5 提出する論文ならば、句読点をどうするか、書式を指定してきているはずなので、自分の流儀とは
関係なく、指定に従います。入試問題の作成の際も、句読点はどうか指定されています。そ
の都度、指定にあわせて変更します。心理学の学会でもそうなのでしょうね。

さて、自分のために手書きで書く文書の場合は、どうしようと、その人の自由ですから、好き
なようにすればよいでしょう。私は、日記的なものを、以前は、パソコンで入力していましたが、
10 ここ数年は、A5 のルース・リーフ (28 行罫) に、1 行おきに (つまり、A5, 1 ページに 14 行)
覚え書きのようなものを毎日書いています。これは、完全に、自分だけの覚え書きなので、その
時の気分で、「,」と「。」あるいは「,」と「。」あるいは「,」と「。」と使っています。さら
に、; や : それに、/ も使います。因に、何ページかを試しに文字数を数えてみたら、平均
15 して、380 字 / 1 ページくらいの分量で、すでに、3,800 ページを越えています (400 字詰め原稿
用紙に換算すると、3610 枚になります)。

Q. 3 ホワイトヘッド (科哲) やアラン・ド・リベラの書籍 (『中世哲学史』) から、ギリシア
語→シリア語→アラビア語に訳された中世の流れに興味があります。

A. 3 それは、イスラーム思想史の研究ということになるでしょう。逆に、オリジナルがギリ
シア語でかかれた文献が、アラビア語訳→ラテン語訳を通じて西欧に知られ、やがて、もとはギリ
20 シア語であることがわかって、直接、ギリシア語で読まれるようになるほうが、中世哲学史と
しては重要です。

そして、そういう研究は、英語やドイツ語による研究文献はもちろんのこと、古いところから
(研究文献として古典的、という意味)、Henri Corbin (アンリ・コルバン) の諸研究をはじめ、新し
いところでは、Jean Jolivet (ジャン・ジョリヴェ) とか、フランス語が読めないといけませんし、
25 イタリア語の研究文献もそこそこあります。それに何より、9 世紀から 10 世紀の文語としてのア
ラビア語、シリア語を読めることと、当然のこととして、中世ラテン語と古典ギリシア語を読め
る必要があります。井筒俊彦先生も「語学だけでも相当の年季を入れなくてはどうにもならない
イスラーム思想史のような学問の性質」と言っておられますから、しかも、それは、「語学だけ
30 ても」なのであって、「語学」以外にもやるべきことがあるわけです。そういうことをやっている研
究者は、日本では、東大か慶応に何人かいますから、東大か慶応に行くのがよいと思います。

Q. 3' 「中世世界そのものが二つ以上存在した」という、アラン・ド・リベラの記述なのです
が、中世欧州の世界ではイスラームの文明が文化的にも影響力をもっていたと習ったことを思い出
しましたのですが、イスラーム世界と中世欧州との哲学的なつながりも今後深く知りたいです。

A. 3' 一旦、シリア語、ヘブル語、アラブ語などに訳されていたギリシア哲学の文献 (特に、
35 アリストテレス) が、更に、ラテン語訳されて、西欧に伝えられ、実は、オリジナルはギリシア語
だといことから、それまでは、主にアラブ語訳から重訳されたラテン語訳で読まれていたテク
ストが、ギリシア語から直接ラテン語に訳されて研究されるようになるは、13 世紀のことです。

Q. 4 自分は日本史の専攻なので史料読解をするのですが、毎度、苦勞しています。どのよう
な方法が最もよく読解力が向上すると、赤井先生は考えますか。西洋哲学の分野でも歴史に
40 応用できることがあれば教えてほしいです。

A. 4 その分野の文献の読解に通じている人の指導を、一定期間、受けること、これしかない
と思います。その期間がどれくらいかは、文献の性質にもよりますし、読解する自分の資質によ
って、かわってくると思います。私の場合、ギリシア語、ラテン語、英語、ドイツ語、フランス語、
イタリア語の文献を読む必要があったので (学部 3 年のときには、これらの文献を読んでいま
45 した)、年度によって異なりますが、授業や読書会で、ギリシア語は、週に 2 コマ、ラテン語は、3

コマ、ドイツ語は2コマ、等々、先生や先輩の院生に間違いを指摘されながら、また、自分が上の学年になると、後輩の読み方を直してあげたり、時に、後輩から間違いを指摘されたしながら、就職するまでに、名古屋で、計5年間、京都で12年以上、読む訓練を受けたことになります。それでもまだ訓練が足りないと思います。それを思うと、今の哲学の分野では、原典の読解をする
5 授業や読書会などが、種類も数も少なすぎると思います。

Q.5 私は中世の哲学者をいまいちしらないので、授業を通していろいろ名前だけでも知ることができたらいいなと思います。近現代の哲学者に一番興味があるのでそれ以前の思想を知っておくのもいいかもしれません。先生的にはこの人は革新的だと思う人がいたら教えてほしいです。

Q.5' 中世世界は闇が深いとよく聞く（日常世界でそういうイメージがある）のはどうしてだと思いますか。
10

A.5,5' 名前だけと言わず、ラテン語も学んで、原典で中世の哲学者の著作を一部でも読んでください。

「近現代の哲学者に一番興味がある」とのことですが、その哲学者が何を学んでいるかを知って、自分もそれを学ぶことが必要です。それをやらない（やれない？）で、その哲学者が書いたテキストだけ読んでわかったつもりになっている人が多すぎます（日本の研究者）。例えば、ヘーゲルの話し言葉・書き言葉は主にドイツ語ですが、ヘーゲル自身は、フランス語、ギリシア語、ラテン語、英語を読んでいるはずで、それをドイツ語だけ読んで、「ヘーゲルは、云々」というのは、お笑いです（お笑い学派に属する？）。フッサールならば、数学と、カントの著作集、特に『純粹理性批判』全体を読むことです。
15

さて、自分で原典を読んだものしか、どうこういう資格はないのですが、13世紀のトマス・アクィナスも14世紀のオッカムも革新的です。論理学に関しては、20世紀も後半にならないと、その最先端の発想が理解されず、特に論理学については、ようやく研究が緒についたという印象があります。例えば下記を参照。
20

トマスについては、

M_4「論証における無中項の前提命題の認識について—トマス・アクィナスのアリストテレス解釈」、京大中世哲学研究会『中世哲学研究』13(1994), pp. 32–39: pdf
25

→ <http://medieval-philosophy.kyoto.jp/> → 機関誌『中世哲学研究』 → バックナンバー

オッカムについては、

「オッカムの論証理論について」、京都大学哲学論叢刊行会編『哲学論叢』19(1992), pp. 1–12.
30

→ <https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/24286>

中世哲学史に関しては、山内志朗先生（慶応義塾大学）の次のつぶやき（2015年1月24日のツイッター）から引用させてもらおうと、

中世哲学？ また尋ねられた。中世のヨーロッパの知性の精髓が築いた知の巨塔。桁外れの知性の生み出した人類の知的遺産なのだが、同じくらいの知性がないと理解できない。近世に入っ
35 ったの並みの知性では理解できず、煩瑣にして空虚の概念の戯れと捉えたが、そんなことはない。（山内志朗）

ということです。つまり、「中世が暗黒」なのではなくて、「中世を暗黒だ」と言っている「近現代人の頭が暗黒」なのです。

Q.6 トレモンタンの西村さんの訳で「歴史を食う」「言葉を食べる」とありましたが、その前の「精神の固有の糧」とかあったので、それと対応してるのではないかと思いました。神学的事象は精神を豊かにするもので歴史を学ぶことでそれが可能、ということをお願いする単なる比喩ではないのかと思いました。
40

A.6 「食べる」というのが「(テキストを)読む」とか「(歴史を)学ぶ」ということの比喩的

表現なのだろうということはわかります。

Q.7 「言葉」によって表示されている事物そのものが更にまた何ものかを表示するという特性を有している・・・というように、多くのことからの原因を神に委ねるこの発想を、私はよく理解できないのですが、それは私に信仰心が根付いていないからですか？ 中世の哲学者たちはどうして説明のつかないことを神という存在を使って説明可能にしようとしたわけではなく、心から真剣にこう考えていたのでしょうか？ なんだかとても不思議に思えてしまいます。

Q.7' など、神秘的なものによって知性を理解する、ということが自分にはあまり実感のないことなので印象に残りました。赤井先生は神秘的なものによって知性を理解した、という経験をしたことはありますか。

Q.7'' 「聖書の作者は神である」という言葉が深いと感じた。

A.7,7',7'' 「心から真剣に」そう考えていたと思いますし、それを研究対象とする私たちとしては、私たちがどう考えるかは別にして、彼らがどう考えていたかを探究する、余裕が必要です。

また、「知性を理解した」ことはありません。「知性を理解する」という表現は、まずくて、「知性的に理解する」(圧縮して、知解する)ではないでしょうか。ですから、「神秘的なものによって示された何らかの真理やことがらを、知性的に理解する」ということでしょうか。

Q.7''' 「丁度キリストの明らかな人性・・・(中略)・・・彼の明らかな神性についての知識に達する如く・・・(略)」とありましたが、目に見えるものを通じて目に見えない何かを知る、感じるという考えは、キリスト教以外でも多くあるような気がしました。

Q.7'''' 背後の见えないものを通じて見えるものを見ると聞いてアイデア論に近いものを感じました。研究のもとの中にアイデア論も含まれていたりするのでしょうか。

A.7''',7'''' キリスト教では、(神が世界を創造する)創造論が重要です。そこで、神のアイデアという考え方の中に、プラトンのアイデアの論が、或る意味で(プラトンの場合とは違う仕方で)取り込まれている、と言えるかもしれません。アイデアは肉眼では見えないものですから、ギリシア哲学も、「目に見えるものを通じて目に見えない何かを知る」という発想をもっていると言えるでしょう。

Q.7'''''' 目に見えないものは目に見えるものによって表される、という話について、ヴァイトゲンシュタインか誰かがいっていた「目に見えないものについては沈黙すべきである」という話はこれを批判しているのですか。

A.7'''''' Wittgenstein が、*Tractatus Logico-Philosophicus* (『論理哲学論考』)の末尾で言っているのは、「目に見えないもの」ではなくて、「語り得ないこと」です。

7. Wovon man nicht sprechen kann, darüber muss man schweigen.

7. 語り得ないことについては、人は沈黙しなければならない。

しかし、私の知らないテキストで、Wittgenstein が「見えないもの」について言っているかもしれませんから、ご教示ください。

もっとも、こう言っている Wittgenstein が、後期になる(『哲学的探究』など)と、神秘主義的傾向がでてきますから、ずっとこれでいける、というわけでもないようです。

ところで、『見えるものと見えないもの』ということならば、メルロ=ポンティの本がありますね。

Q.8 今日から授業を受けはじめたのですが、ファウストが「ロゴス」を多様な意味で訳しているところから「ロゴス」は多くの意味を含んでいるという説明が面白かったです。

A.8 専門が独文でなくても、ドイツの哲学・思想をやろうという人なら、ゲーテくらい原典で読んでください、と言っておきましょう。

Q.9 中世世界そのものが二つ以上存在したという話にはなるほどと、思った。

Q. 9' 中世など存在しない、という考えが新鮮でした。それは1つの世界だけではなくて、複数の世界をもっていたからだとする考え方が興味深かったです。

Q. 9'' 中世世界は中心をもたない、二つ以上存在する、というのを見て、中世世界のとらえ方を考え直してみようと思った。

5 A. 9, 9', 9'' 中世哲学史を考える上で、約1,000年間という、一定の同じ期間に、複数の世界があったと想定するならば、それは、中世に限った話ではなくて、程度の差こそあれ、現代についても言えるし、もっと限定して、広島大学の構成員だけについても、言えると思います。それは、空間的・地域的な区別ではなくて、人間集団と、その構成員の帰属意識が問題なのだと思います。

10 Q. 9''' 世界が複数あるという観点は面白かった。それらの世界は交わったり、相互に干渉したりすることはないのであるだろうか。

赤井先生の「別の先生と住んでいる世界が違う」という例だと相互干渉していなさそうだが...

Q. 9'''' 私は、住んでいる世界が違うと感じた事はありません。こいつ何言ってんだ、は多々ありますが。

15 A. 9''', 9'''' いずれも、「世界」をどう理解しているかによるのでしょうね。相互に干渉というより、一方的に、情報を与えられない、仕事をやらされる、という影響は受けていますが...

Q. 9'''''' ...中世など存在しないという言い方はどうなんだろうと思いました。後に出て来る意味ある貢献もまた、古代と近現代をつないでいる時点でないわけないだろうと思いました。

20 A. 9'''''' 古代と近現代をどう捉えるかにもよりますが、中世などない、という立場は、今と昔しかない（つまり、中間の時代はない）とも解せますし、もっと強い言い方をすると、古代とそれ以降の時代しかない、とも解せます（そうすると、近現代は、中世の続きということになります）。

Q. 10 赤井先生はこれまで何語を学んでこられましたか。また、これから学ぼうと思っている言語はありますか。

30 A. 10 途中までかじって、中断しているのがいくつもあるので（まだ、死んでいないので、挫折して中断した、とは決まっていない、つまり、再開する可能性がある）、授業をしたり会議に出たりしなくてよい、まとまった時間がほしいと思います。大学に入るまでに、英語以外に、フランス語、ドイツ語、ラテン語、ロシア語、ギリシア語を独習しました。大学に入ってから、あらためて（単位をとらなければならないので）第一外国語がドイツ語（9単位）、第二外国語がフランス語（10単位）、英語もとれ、と指導教官（当時の名称）にいわれて、途中から、英語も（8単位）授業に出て、ロシア語、ラテン語、ギリシア語、イタリア語の授業にもでて単位を取りました。それから、サンスクリットの授業にも出ました。

数学・論理学とギリシア語・ラテン語を同時にやるのが、哲学のトレーニングとしてはよいので、どちらかだけに集中するのは、哲学のトレーニングとしては、かえってよくないと思います。

35 大学院に入ってから、アラブ語とヘブル語の授業に出ましたが、文法をやっただけで、テキストを読む訓練が欠けています。また、いつやったか、たぶん、大学院に入ってからだと思うのですが、ドイツ語（中高ドイツ語）、スペイン語の文法、ポルトガル語、それから、これは、学部生のうちに独学で、現代ギリシア語の文法を Teach Yourself の英語の本で独習しました。それに、デンマーク語もやりました。これらは、何か、文献を読むために必要があつて勉強しているので、直接、専門に関係ないので後回しになっているけれども、時間があつたら、チェコ語、ハンガリー語、ポーランド語、チベット語で読みたいものがあります。モンゴル語は、以前、モンゴル語学
40 をやっている人と読書会をしていた関係で、古い文法書（ドイツ語）をもっていますが、勉強する動機がなくて、そのままになっています。

Q. 11 中世哲学史で西欧キリスト教以外の観点から書かれているものは存在しないのですか。

A. 11 キリスト教徒以外が書いたものならば、それにあてはまるでしょう。西洋哲学史全般ならば、具体的に挙げられますが、中世哲学史、と限定すると、これ、と言えません。

西洋中世哲学史 第3回 (2018.06.19. 火)

Q.-2 最近、雨天が多いので読書をする時間が増えました。先生は小説などはお読みになれますか？

A.-2 読み出すと、のめり込んで他のことができなくなるので、まれに、まとまった時間があるときに読むことがあります。もう20年以上も前に、三島由紀夫の『豊饒の海』四部作を三〜四日かけて読んだのが最後のようになります。高校の時は、高橋和己と高橋たか子の作品はほとんど読んでいました。埴谷雄高の『死霊』とかも。漢和辞典が必需品です。

Q.-1 よく〇〇学派と言われますが、今のようにある程度インターナショナルに人が移動する時代になっても根強いものなんでしょうか。

10 アリストテレスの学派のことをペリパース (ママ) というのですか？

A.-1 「ある程度インターナショナルに人が移動する」ことによって、国内だけであったものが、却って、国外にまで広まってしまっているだけで、以前より悪くなっているのではないですか (学問の内容によって違いはありますが)。

ペリパトス (peripatos) 派と呼ばれます。逍遙学派とも。

15 Q.0 『哲学の歴史』第1巻のアリストテレスの章を読んでみると、アリストテレスの論理学体系はほとんど完璧なものであったが・・・(中略)・・・スコラ学派の論理学への貢献も興味深いものであった・・・(後略)・・・

A.0 ショーペンハウアー (C_1) やヤスパース (C_2) が言っているように、質問者のような勉強は、やってもよいけれども、これは大学に来なくてもできる勉強です。大学では大学でしかできない勉強をしてください。(つまり、アリストテレスの論理学と中世論理学を知りたいければ、まず、ギリシア語とラテン語を学んで、アリストテレスのギリシア語のテキストと、中世論理学のラテン語のテキストを自分で読め、ということです)

Q.1 私は今、少し、ショーペンハウアーのペシミズム (あるいは仏教的思想) に魅かれています。・・・(中略)・・・ショーペンハウアーとは逆方向の思想に触れなくては、と思ったところなのですが・・・

A.1 ペシミズムの反対なら、オブティミズムでしょう。ライブニッツとかヘーゲルとか、表街道の哲学者に多いです。が、ショーペンハウアーが本当にペシミズムかどうか、から検討するのがよいではありませんか。ショーペンハウアーもヤスパースも、参照した資料では少なくとも言っていなかった方法として、ショーペンハウアーの (原典テキストを読んで引用している) 研究書を読みながら、言及されている、ショーペンハウアーの原典テキストを自分でも読んでみる、というやり方があります。ショーペンハウアーのテキスト、ショーペンハウアーの研究者の解釈、そして、ショーペンハウアーを読んでいる自分と、これら三者を区別して、ショーペンハウアーのペシミズムってどういうことかを明らかにできればよいと思います。まずは、ショーペンハウアーのテキストを読むことですね。

35 例えば、Philonenko, A., 1980, *Schopenhauer Une philosophie de la tragédie*, Paris : Vrin, とか, Rosset, C., 1967, *Schopenhauer, philosophie de l'absurde*, Paris : PUF. など。

ショーペンハウアーのテキストは、Löhneysen の Suhrkamp 版か、Hübscher のひげ文字の Brockhaus 版が図書館にあると思いますので読んで下さい。

Q.2 ショーペンハウアーの「哲学者の著作の解説を読むのは、誰かに食べ物を代わりにかんでもらうようなものだ」というのを聞いて確かに、と思った反面、誰かにかんでもらって柔らかくなったものの方が食べやすいのかなとも思いました。

A.2 正直な感想、ありがとうございます。「住んでいる世界が違う」というのは、こういうことを言うのでしょうか。

Q.3 "哲学が神学の婢にすぎない"という事は・・・(中略)・・・私の知るかぎり、中世では、

婢は、貴族の子弟が務めるもので、王族にはかかせないのでしたから、"哲学が神学の婢"というのは、哲学を見下すというより、必要であった、とも言えるのではないのでしょうか。

A. 3 中世の大学の学部構成を見ればどういう意味かは分かると思います。また、トマスの『神学大全』第一部第一問題第九項 (Thomas Aquinas, *Summa Theologiae*, Pars I, q. 1, a. 9) を参照。

5 Q. 4 ……(略)……授業とはあまり関係ないですが、先生は自然科学と哲学の関係についてどう思っていますか。

A. 4 領域学・個別学としての自然科学の外から、個々の自然科学の枠組みや発想を考え直させたり、反省させたりするのが、哲学の仕事のひとつだと思いますが、それをするには、哲学のほうも、ある程度、問題とする当の自然科学のことがわかっていなければなりません。

10 Q. 5 権威あるものもすべてを信じ込んでしまうことの危うさは現代の情報社会でも通ずるものだと思います。

Q. 5' 常に疑いを持つことは大切だと分かりました。有名な人が言うことは信じてしまいそうですが、気をつけておきたいです。

15 Q. 5'' 先代の哲学者が言っていることを正しいと勝手な先入観で思い込み、疑うことをやめてしまったら、学習する意味はなくなってしまうのではないかと思った。まさに、かんでもらったものを食べる行為だと感じる。この考えは哲学だけではなく、全ての学問に言えるような気がする。

A. 5, 5', 5'' 原典にせよ翻訳にせよ、そこで言われていることは、どこからきたのか (何に基づくのか)、と思いながら読むことが大切です。

20 Q. 6 中世哲学についての引用している意見から見れば、哲学が神学にのみこまれそうで神学とは学としてそれだけの大きさを持つものなのか、神がそのような存在なのか、存在でなければならぬのだろうかと思いました。

A. 6 神学はそれだけの大きさをもつ学であり、最も関心があるのは、神のことであるような人たち、そして、見神 (visio Dei)こそが最大の願いであるような人たちがいて、そういう人たちによって、今でも、研究されている、ということを知っておく必要があります。

25 Q. 7 様々な言語を学ぶと、その都度、膨大な量の単語を覚えなければならないと思います。文章に出て来る度に、その単語を覚えるか、それとも別に、単語カードのようなものを作って、集中的に覚えるのか、どちらをするのが良いでしょう。

A. 7 文章に出て来る度に、でよいと思います。人によって違うと思いますが。

30 Q. 8 自分が読んでいる本が、どれほど著者の意図の影響を受けているのかを考察すること、また、原典にできるだけ近いものに触れてみることの重要性を知りました。努力してみようと思います。

Q. 8' 外国語を勉強して原典をしっかりと読めるようにしたい。

Q. 8'' 改めて原典で読むことが大事だなと思った。そのためにも、言語を学ぶことも、とても大事だなと思った。

35 Q. 8''' 原典で読むことの重要性について、赤井先生の授業を受けて気づいたのですが、原典で読めるようになるまでが大変だと思います。

A. 8, 8', 8'', 8''' そう簡単に原典で読めるようになる人ばかりではありませんから、常に、現在進行形でよいのです。

西洋中世哲学史 第4回 (2018.6.21. 木)

Q.-2 先生のジュリアス・シーザーを見てみたいです。

A.-2 Shakespeareの*Julius Caesar*は、やっていません。私が演じたのは、*Love's Labour's Lost*のHolofernes (ホロファニス)という教師役です。*Love's Labour's Lost*は、台詞は、通常の英語の他に、教師役だけあって、英語にまじって、フランス語、ラテン語もでてくるし、劇中劇もあって、衣装も複数必要で、大急ぎで着替えるとか大変でした。もう20年ほど前のものですが、昔のWebサイトのファイルが保存してあったので、授業に来た諸君には、URLを教えましょう(リンクははってありません)。

Q.-1 レポートのテーマを2件選ぶとの事ですが、2000字というのはそれぞれ1件につき2000字程度ということでしょうか。

A.-1 違います。このコメント第1回(2018.06.12. 火)のQ.4とA.4(p.3, ll. 6-11)のやりとりを読んで下さい。

Q.0 急に忙しくなるのが嫌なのでできるだけ早くレポートを終わらせたいのですが、pdfファイルを探してもわかりません。先生はどこに隠しているのですか？

Q.0' レポート課題のプリントには日付の指定がされていますが、それより早く提出してもよいですか。

A.0,0' 何回か配布したプリントに、URLを書いておいたはずですが、授業でもう一度確認しましょう。また、早く提出するのはかまいません。

Q.1 演習の授業をとりはじめてから、文中にでてくる哲学・倫理学用語がことごとくわからず自分の訳語が正しいのか不安になるので、とりあえず用語や思想の概要を本で学びつつやっついこうと思っていました。正直自分の準備不足のせいで、原典を訳して哲学者本人の説明を理解している時間がないので、いつかまとまった時間のあるときに原典から学んでいこうと思います。

Q.1' 私は今英語の論文を訳して読んでいますが大変な作業です。原典を読むことの難しさを実感しました。

A.1,1' 森有正が「思想は、思想から始めたら、全然駄目なのです」と言っているのがあたっていますね。

原典もですが、それについて書かれた研究文献(論文など)も、テーマによっては、英語で書かれた論文だけではなくて、独、仏、伊(それに、もちろん、日本語で書かれたものもある)語で書かれた論文を読まなければなりません。

Q.2 トマスはなぜ、神が自己認識しつつ他を直観している、とわかっているのですか。

Q.2' 「このように、(神学は)より・・・」というのがよくわからなかったです。「自己を認識しつつ」の部分が特にわかりづらいです。

A.2,2' トマスに尋ねてください、と言いたいところですが(もう言っていますが)、13世紀には、アリストテレスの『形而上学』を読んでいる人たちにとっては、トマスに限らず、常識です(現代でも)。『形而上学』12巻で、「思惟の思惟」そして「(愛されるものとして他を動かす)不動の動者」(これらも哲学史の常識です)として、(キリスト教ではなくて)アリストテレスの神が語られますが、これと、キリスト教の神を整合的に解釈することが試みられていました。

Q.3 私は、歴史学を学ぶに当って、マルクスとウェーバーを読むことを勧められたことがあります。哲学では彼らはどのような位置づけなのでしょう。

A.3 二人とも哲学出身で、今では、経済学(特に、社会思想史)、社会学の分野で、主に扱われることになっています。

Q.4 古代・中世・近代、2年生になってから一通り3つの時代について学んでいますが、自分の本当の興味関心はどこにあるのか悩んでいます。研究対象をある程度しぼるべきですか・・・？

だとすれば、いつ頃が目処になりますか？ いろいろと不安なことがあります。

A. 4 人によって異なりますし、途中で変更することもありますから、2年生のできるだけ早い時期に、主に扱うテキストを決めて、それを入手して読み始めることです。3年になったら、もう原典で読んでいるのがよいでしょうね。

5 Q. 5 前々回の授業時に、私が質問したことに対して、赤井先生が与えてくださった、「(理解できないように思えることであっても)それを研究対象とする私たちとしては、私たちがどう考えるかは別にして、彼らがどう考えていたかを探究する余裕が必要です」という答えに感銘を受けると共に深く納得させられました。

A. 5 いずれにしても、自分とは違う立場の主張を一旦受け止めて理解して、次に、それを自分の立場から批判する、という余裕が必要ですね。(しかし、「理解する」のは、困難な場合もあり、理解できずに挫折したり、理解できずに誤解しているのに、わかったつもりになってしまうこともありえます)

Q. 6 学問をするにおいて、批判力が重視されると思いますが、自分は論文を読んでも、なかなか批判点が浮かびません。批判力を磨くにはどうしたらいいでしょうか。

15 A. 6 批判のための批判は、本来、意味がありません。何か批判するだけの理由があって批判は意味があるのですが、訓練としては、debateの発想、つまり、自分の本当の意見・立場とは別に、ある事柄に賛成する立場と、反対する立場に分かれて、それぞれの理由を考えて、互いに相手を説得する、という、いわば、ゲームのような作業がこれにあたります。実際のdebateでは、複数の人たちが二手に分かれて、議論を戦わせますが、一人で頭の中でやることもできます(一人碁、一人将棋のように)。

一人で論文を読んでいるときにも、著者が言っていることについて、何故そう主張できるのか、引用・言及されている史料や研究文献は、著者が言っている通りの内容になっているのか、ということを考えながら読んでみることでしょう。

25 Q. 7 信じることと知識があることは別というのはなるほどなと思いました。私は、特には神を信仰していないので、そういった見方には、少し異和感をもつところがあります。

A. 7 現代の日本語の「信じる」と「知る」の意味とは違うということですね。ラテン語に対応する適切な日本語がない、とも言えるでしょう。

Q. 7' 神学の話は、神という存在があまり身近でない私にとっても、倫理、哲学の初心者の方にとっても難解なものでした。

30 A. 7' 近世哲学史を学ぶとわかるはずですが、中世以来、17世紀までは、主要な哲学者はみな、神の問題を取り扱っています。ところが、18世紀になると(いつからからは、近世の専門家に明らかにしてもらいたいところです)、例えば、カントの『単なる理性の範囲内での(もっぱら理性の境界内での)宗教』という書名や、『純粹理性批判』のアンチノミーが間接的に示すように、神の存在証明はできないという立場で、神の問題は哲学の中心問題としては扱われなくなる傾向があります。しかし、ストレートに「神」と言わなくなっただけで、例えば、20世紀のヤスパースの「超越者」や、アービッヒの「自然」は、17世紀までであれば、「神」(あるいは、キリスト教以前のアリストテレスならば、「神」か「神的なもの」と言っていた内容とかなり重なる場所がある)と思います。しかも、やはり、20世紀のハイデggerなどは、「最後の神」(最後に神が訪れる)ということを残しています。ホワイトヘッドの『過程と実在』の最後のところでも、やはり「神」が問題になります。

Q. 7'' 神学では扱いきれない範囲を哲学で扱おうとしていることが分かりました。そうはいつでも切っても切り離せないものとして2つの学問があるように感じました。神学と哲学という学問がそもそもどのようにして出現してきたのかを知ることも必要だと感じました。

45 A. 7'' 中世の大学の学部の成立を調べるとよいかもしれません。以前、紹介した、ハスキングの本が参考になるでしょう。

Q. 7''' 信仰の対象と、学問の対象が同一になりえない、とあったが、信仰は学問ではないということか？ 神学という学問や、宗教学としてのキリスト教はどういった扱いになるのか？

A. 7''' まず、トマスの時代には、宗教学はありませんでした。そして、現在では、信仰の対象や信仰のあり方は、学問の対象として扱えるけれども（宗教学、あるいは現在の神学）、信仰
5 (自体) は学問ではありません。それに対して、宗教学も、キリスト教学も、仏教学も、学問です。

Q. 7''' ヨーロッパにおける神学と哲学の関係を見て、ふと思ったのですが、東洋の世界においても哲学的思想と宗教的思想は深いかかわりをもって発展してきたのでしょうか。

A. 7''' 東洋の哲学（的思想）をどう捉えるかによるのですが（ギリシア哲学に由来するか、直接由来しなくても、同じ発想・原理による思索しか哲学と呼ばない立場もある）、概して、哲学的
10 な思索は希薄で、宗教的要素が強いという印象があります。が、「東洋」という呼称で、ひとくくりにできない面があって、特に、インドと中国は別に考える必要があると思います。例えば、ヴァイシェシカ学派などは、padārtha（句義、カテゴリー）を唱え、また、ニーヤヤ学派の論理学は、ギリシア哲学に劣らず、理論的、論理的という意味で哲学的です。

Q. 7''' 神学者は、火を単なる自然的現象と見ずに、神の偉大さの現れとして見る、というのは、何かひねくれているなと思いました。

A. 7''' そう見ている当人たちは、自分たちがひねくれているとは思っていないので、自然に
そう見ることができてしまう人たちである、ということです。

Q. 7''' 宗教的でない人間であっても、神学を理解することはできるのでしょうか。私はとても信仰をもつものとは言えないので、'神学'という言葉自体から否定的に感じてしまいますが...

A. 7''' 神学も学である限りは、信仰の有無にかかわらず理解し、知ることはできるはずです。

Q. 8 「死に方」について考えているとおっしゃっていましたがどのような死に方をされた
15 10 15 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 200 205 210 215 220 225 230 235 240 245 250 255 260 265 270 275 280 285 290 295 300 305 310 315 320 325 330 335 340 345 350 355 360 365 370 375 380 385 390 395 400 405 410 415 420 425 430 435 440 445 450 455 460 465 470 475 480 485 490 495 500 505 510 515 520 525 530 535 540 545 550 555 560 565 570 575 580 585 590 595 600 605 610 615 620 625 630 635 640 645 650 655 660 665 670 675 680 685 690 695 700 705 710 715 720 725 730 735 740 745 750 755 760 765 770 775 780 785 790 795 800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 1000

A. 8 具体的な死亡の方法ではなくて、上原専禄先生（一橋大学の西洋中世史の先生だった）の
25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 200 205 210 215 220 225 230 235 240 245 250 255 260 265 270 275 280 285 290 295 300 305 310 315 320 325 330 335 340 345 350 355 360 365 370 375 380 385 390 395 400 405 410 415 420 425 430 435 440 445 450 455 460 465 470 475 480 485 490 495 500 505 510 515 520 525 530 535 540 545 550 555 560 565 570 575 580 585 590 595 600 605 610 615 620 625 630 635 640 645 650 655 660 665 670 675 680 685 690 695 700 705 710 715 720 725 730 735 740 745 750 755 760 765 770 775 780 785 790 795 800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 1000

Q. 9 赤井先生は音楽が好きなイメージがありますが、好きなスポーツはありますか。ワールド
ドカップが始まって、日本も盛り上がりおもしろいです。

A. 9 見るのもやるのも、特に好きなスポーツはありません。ただ、長らくやっていませんが、
泳ぐのは好きです。

Q. 10 夢野久作の作品はドグラ・マグラ（ママ、『ドグラ・マグラ』）ですか。まだ読んだこと
30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 200 205 210 215 220 225 230 235 240 245 250 255 260 265 270 275 280 285 290 295 300 305 310 315 320 325 330 335 340 345 350 355 360 365 370 375 380 385 390 395 400 405 410 415 420 425 430 435 440 445 450 455 460 465 470 475 480 485 490 495 500 505 510 515 520 525 530 535 540 545 550 555 560 565 570 575 580 585 590 595 600 605 610 615 620 625 630 635 640 645 650 655 660 665 670 675 680 685 690 695 700 705 710 715 720 725 730 735 740 745 750 755 760 765 770 775 780 785 790 795 800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 1000

A. 10 おっしゃる通り、『ドグラ・マグラ』です。角川文庫版では、(上)のp. 181に、「・・・
35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 200 205 210 215 220 225 230 235 240 245 250 255 260 265 270 275 280 285 290 295 300 305 310 315 320 325 330 335 340 345 350 355 360 365 370 375 380 385 390 395 400 405 410 415 420 425 430 435 440 445 450 455 460 465 470 475 480 485 490 495 500 505 510 515 520 525 530 535 540 545 550 555 560 565 570 575 580 585 590 595 600 605 610 615 620 625 630 635 640 645 650 655 660 665 670 675 680 685 690 695 700 705 710 715 720 725 730 735 740 745 750 755 760 765 770 775 780 785 790 795 800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 1000

Q. 11 先日、先生は「授業をしたくない」「こんなはずじゃなかった」というようなことをおっ
しゃっていましたが、もし今から先生という仕事を辞めて好きなことができるとしたら何をしま
すか？

A. 11 別の仕事ということになってしまいますが、どこか常設のオペラハウス（日本にはない）
40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 200 205 210 215 220 225 230 235 240 245 250 255 260 265 270 275 280 285 290 295 300 305 310 315 320 325 330 335 340 345 350 355 360 365 370 375 380 385 390 395 400 405 410 415 420 425 430 435 440 445 450 455 460 465 470 475 480 485 490 495 500 505 510 515 520 525 530 535 540 545 550 555 560 565 570 575 580 585 590 595 600 605 610 615 620 625 630 635 640 645 650 655 660 665 670 675 680 685 690 695 700 705 710 715 720 725 730 735 740 745 750 755 760 765 770 775 780 785 790 795 800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 1000

西洋中世哲学史 第5回 (2018.06.26. 火)

Q.-3 本を読むのがとてもおそいのですが、先生は速いほうですか？ また速くなる方法などありますか？

A.-3 内容によって、おそかったりはやかたたりすると思います。速読と精読とありますが、これらは対立するものではなくて、正確に読める人は、はやく正確に読めるので、逆に、正確に読めない人は、時間がかかって、しかも、不正確にしか読めない、というのが正直なところではないでしょうか。また、あじわうために、すでにわかっている内容のものを、意図的にゆっくり、何度も読む、ということもあります。

Q.-2 幼児期の教育にギリシア語を取り入れると良いなあと思っています。

A.-2 モンテーニュの乳母は最初からラテン語しか話さないでモンテーニュを育てましたし、J.S. ミルも、幼いときから、ギリシア語、ラテン語を学ばされましたが、どちらの場合も、教えることのできる大人が身近にいたからできたことで、今、そういう環境にいる子供がどれほどいるのでしょうか。

Q.-1 シェークスピアはベーコンと同一人物であるという説がありますが、先生はどう思われますか？

A.-1 たぶん、違うんじゃないかと思いますが、Shakespeare の作品と、F. Bacon の作品を読んで見て考えたらどうですか。逆に、プラトンは、何人かによる作家集団のペンネームだという説がありますが、どう思われますか？

Q.0 フランス革命の時に、ルイ 16 世の臣下が孫に至るまで殺害されたという話は驚きでした。中国や日本でも似たような話があると思いますが、血縁者まで社会的悪ととらえ、それを排除しようとする考えは、西洋も東洋も同様だと感じました。

A.0 件の人物は、クレチアン・ギョーム・ド・ラムアニョン・デ・マルゼルブ (~1794 年 4 月) というらしいです。マルゼルブのことは、サント・ブーブの『月曜閑話』(1850.9.23-24) とか、カーライル『フランス革命史』に拠ります。

Q.1 トマス・アクィナスの『神学大全』の構成を聞いて、その壮大な構成に驚きました。アウグスティヌスにしる、中世の哲学者は人生をかけてつくったような大作を残すところに、1つ特徴があるようにも思えました。このような、大きな仕事ができるのも、宗教的なけいけんさに関係しているのでしょうか。

A.1 著作活動自体が信仰の証であるという意味ではそうでしょう。テレビやネットもなかったですし。

Q.2 哲学者は道中において、神学者は頂上から見ているという解釈はおもしろいと思いました。

Q.2' 哲学者は山を登っているが、神学者は上で待っているという表現は面白いなと思いました。哲学を主にやっている人と神学を主にやっている人はお互いのことをどのように思っていたのですか。

A.2, 2' 中世の大学の学部構成を見てもわかるように、哲学部(学芸学部)で三学四科を修めたら、神学部(あるいは法学部、医学部)へ進学することを考えると、神学部の学生からみると、まだ、神学(部)へ進学してこないで、哲学(部)に留まっている、というように見えたかもしれません。

Q.3 哲学が下から登っているなら、登っているうちに上にいる神学も思いつかない場所に至ることもあってそれが神の見方のそれぞれの違いであるのかなと思った。

A.3 なるほど、その場合、神学のほうからすると、哲学はどんでもないところに至って、それを神だと勘違いしている、ということになるのでしょうか。この場合、神学と哲学は出会わないことになりそうですね。

Q.4 哲学について自分は「信じる」ことが多いように思えます。しっかりと「知る」ことが

できるようになろうと思いました。

Q.4' 数学が苦手な公式などを導く方法を理解していなかった私は公式が間違っていないと信じていたのだと思いました。

Q.4'' 知れないから信じるというのはなるほどと思った。

5 Q.4''' 信じること・知ることの関係なんて普段生活していて考えないので、そこに目をつけること自体がまずすごいなと思いました。

Q.4'''' 信仰は意味を失うという表現は怖いと感じました。

10 A.4,4',4'',4''',4'''' 近世のドイツ哲学をやっている人たちなら、ヘーゲルの数少ない著作の中のひとつに、*Glauben und Wissen*, 1802 (『信と知』) というのがあり、カント哲学、ヤコービ哲学、フイヒテ哲学を批判的に検討していますから、読んでみてください。

Q.5 人間の為す行為や行動の全ては神に導かれているという話が今日の講義では特に印象に残りました。私は事物において、理屈や論理だけでは説明できないと考えていたので、今日の赤井先生のお話はとてもスツと入ってきた。神に導かれる行為は因果性があるかないかが少し疑問に思いました。

15 A.5 自然現象については、あまり問題にならないのですが、人間の行為については、個人の行為の責任を問う必要から、すべてを神のせいにはできない倫理が必要になります。が、これは、アリストテレスの発想の範囲外のことです。

Q.5' 人間の行動がすべて神によって導かれているという考え方が面白いと思いました。僕がお金持ちでないのも神のせいですね。

20 A.5' というわけで、君がお金持ちでないことに、アリストテレスは関知しませんが、トマスなら、おそらく、君をその状況において、君をお試しになっているんだ、というのではないかと思います。

25 Q.6 アリストテレスの「不動の動者」としての「神」は、私が普段思い浮かべる「救済する神」の姿とはだいぶ異なっていると感じました。全てのものに愛されながら、自分より低位のものたちについては考えないというのは西洋的な「神様」というよりむしろ私たちが絶対的に従うしかない自然の力のようなものかもしれないとも思いました。

Q.6' 世の中にある万物の動きは、最終的な目標として神を目指しているという説は、なるほど、そういう考え方もあるかといへん感動に近いものを覚えました。

30 Q.6'' 神とはっきりと言わずに、自然などと言い換えるのはおもしろいと思いましたし、それだけ名前の持つ役割は大きいのだなと思った。

A.6,6',6'' アリストテレスのいう「不動の動者」と、キリスト教の創造主としての神を区別して捉える必要があると思います。例えば、トマスが、アリストテレスの「不動の動者」をどう解釈したかを検討するべきですね。

35 Q.7 今日の授業の最初の方でアウグスティヌスについての説明がありましたが、難しいことばかりが多くて理解するのが大変でした。倫理 哲学的なボキャブラリーを増やすのに良い本を教えてください。

Q.7' 最近 演習の授業でドイツ語の文章を訳したり、英語の文章を訳したりしますが、とても大変です。(特にドイツ語) もう一度、最初からドイツ語を学び直したいと思うのですが、なにかアドバイスをいただけますか。

40 A.7,7' 語彙の問題も、ドイツ語(にかぎらないが)の学習も、しかるべき道具が必要でしょう。辞書とか文法書とか。

西洋中世哲学史 第6回 (2018.06.28. 木)

Q.-4 最近自分で梅酒を作ってみようかと思っています。先生はお酒などは嗜まれますか。

A.-4 基本的に蒸留酒を少しいただきます。以前は、ウィスキーやブランデー、泡盛などでしたが、ここところは、焼酎（芋か米）です。それもアルコール度数が高いのがよいです。37度
5 とか。火をつけると燃えます。ポーランド製のズブロッカなど50度以上あるので、冷凍庫に入れても凍りません。

Q.-3 先生は御自宅にネット環境がないということをおっしゃっていましたが、にもかかわらず、あらゆる流行や時事的なネタを御存知なのでいつも凄いとっています。好奇心の持ちようというか、アンテナの張りようなのかなと思いました。

10 A.-3 「私のテレビはすでに死んでいる」ので（地デジ難民なのですが）、どうしてだか、情報がはいつてくるので、「天がそれを望んでいる」のかもしれない。しかし、大学内で、どの教員がどうしたとか、制度がこう変わるとかという情報は、遮断されている（住んでいる世界が違う、という感じ）のか、教えてもらえないので、知りません。そういう状況を「天が望んでいる」のでしょうか。

15 Q.-2 朝は早く起きなさいと言われていましたが、私は他の若者より早く起きれる自信があるし、寝坊を今までほとんどしたことがない。アラームのワンコールで起きれます。

A.-2 すばらしいと思います。これからも日本の朝をリードして行ってください。

20 Q.-2' 今日の講義では、朝の起床の話が印象に残った・・・(中略)・・・深夜のバイトで・・・朝、寝坊してしまうこともあります・・・自分の生活をより良くマネジメントできるようにしたいと思いました。

A.-2' 例えば、深夜から早朝にかけてバイトしていても、一日の中の睡眠時間をコントロールすれば、有効に時間を使えると思います。工夫してみてください。

Q.-1 ・・・授業に関係ないのですが、生協への要望です。文学部1F奥のコピー料金ですが、現在コンビニと同じです。学生のために値下げを考えてほしいです。

25 A.-1 ひと言カードに書いて下さい。投函するのは、北1でも北2でもよいと思います。

Q.0 がんばった。レポートを書くのは久々なので緊張している。赤井先生がぼくをいじるので恥ずかしかった。初めて受けたので、ここからリハビリしていきたい。

A.0 リハビリにつとめてください。

30 Q.1 ドイツ語を理解するにはラテン語を学ばなければいけないというお話を聞いてラテン語の必要性をとて感じました。

Q.1' 授業の冒頭の話になるのですが、ドイツを学ぶなら英語もやらないといけない、といった話に興味をもちました。専攻のかね合いで漢文に近い文書を多々読むのですが、中国語を理解しないと深く分からないと感じる部分があるからです。

A.1,1' 同じ話を聞いても、聞き手によって、受け取っている内容が違うのですね。

35 Q.2 今授業でハルトマンをドイツ語で読んでいるのですが、時間がかかってしまいます。早く（ママ、速く？）読むコツはありますか。

40 A.2 ありません、というか、古典語（ギリシア語やラテン語、サンスクリットでも）を読み始めたときには、1週間かけて予習して行ったのに、授業では3分で済んでしまう、ということもありました。それでも、あきらめずに続けると、半年くらいでもっと速くたくさん読めるようになつたりします。

ところで、そのハルトマンは、ニコライですか、エドアルト・フォンですか？ 前者なら、*Ethik* ですか？ やはり、最初の20ページくらいは全部の単語を調べるくらいのつもりで読み、著者の発想法・言い回しがわかったきたら、読む速度もあがるのではないですか。

また、ちょっと、邪道ですが、もし、英訳や仏訳が存在する場合は、それを読んで（英訳や仏訳を読める場合ですが）、あらかじめどういふことを言っているかを頭に入れておいてドイツ語を読むこともできます。

5 Q.3 哲学において、単語一つ一つの意味を取り違えると命取りにつながりかねないということ
とを認識しなければならないと改めて思った。

A.3 「お前の訳はすでに死んでいる」と北斗神訳の訳四郎に言われてしまうような本が世の中には出回っていますからね。

Q.3' 言語を学ぶ時に一つの語においても複数の辞書を使っていろいろな意味を知ることが大切なのだとわかりました。辞書によってかなり訳し方が変わるのはおもしろいなと思いました。

10 A.3' もうひとつ、二ヶ国語辞典とともに、ドイツ語なら、独々辞典（Grimm や Wahrig, Duden など）、フランス語なら、仏々辞典（Littré や Robert など）も引くようになってください。もうひとつの世界が開けるかもしれません。でも、その前に、英々辞典は、何冊もっていますか？

Q.4 第二項 聖なる教えは学であるか？ という問題は興味深い。他の時代の哲学者だとどういふ異論を唱えるかも面白いだろう。

15 A.4 トマスが、13世紀以外に活動していたら、その時代に主張されている様々な説に対して、それをどう位置づけて、反論するか、あるいは賛成するか、知りたいところです。

Q.5 アリストテレスや古代哲学者にキリスト教的概念を教えたら、どのような反応を示すのかは、おもしろそうで、どんなことを言ってくるのか気になる。

20 A.5 古代ギリシアの連中にとっては、宇宙や世界は始まりがなく、最初から存在して永遠である、と考えるのが普通でしたから、世界の創造主ということに、一番、なんでやねん、と言ってくるのではないのでしょうか。

Q.6 …最後のアリストテレス？ のお話をもう少し詳しくきいてみたいです。

25 A.6 アリストテレス『形而上学』を翻訳でもよいですから、自分でも読んでみることを勧めます。その際、『形而上学』全14巻の訳は、全集版か、岩波文庫（出隆訳）によるしかないですが（講談社学術文庫の岩崎勉訳は、できれば、後から読んだ方がよい）、授業に関係ある箇所については、次の翻訳を勧めます。

世界の名著『ギリシアの科学』所収の藤澤令夫先生の訳で、『形而上学』第1巻の訳、

世界の名著『アリストテレス』所収の『形而上学』第5巻（川田殖訳）、第11,12巻（松永雄二訳）。

30 Q.7 個々の感覚が集まると全体的な普遍的なものができるのではないかと思ったので、知性の内に感覚があるというのはイメージしやすかった・・・図（略）・・・

35 A.7 ギリシア哲学では、知性（nous, intellectus）と感覚（aisthēsis, sensus）とは、別のもの、はたらきとして峻別されるのが、中世にも受け継がれているのですが、14世紀の Ockham は、知性と感覚を区別しつつも、知性は、感覚が捉えることも、捉える、という立場を打ち出した点が画期的であると言えます（もともと、これは、伝統的な立場からは、間違いと見なされますが）。

Q.8 天文学者と自然学者が異なる方法で同じ結論に至るのだから、哲学においても自然理性によつてと、神の啓示の光によつて同じ事柄を扱うことはおかしくないというのが面白かった。赤井先生は神はいると思いますか。

40 A.8 特定の信仰はありませんが、「神」と「いる」の意味を検討すれば、何かは言えるかもしれませんが。しかし、近現代の哲学者に限っても、例えば、ヤスパースが超越者といい、ショーペンハウアーが盲目的意志といい、ハイデッガーが最後の神といい、また、私は好きではありませんが（はつきり、嫌いと言え！）、ヘーゲルの絶対精神といい、また、アービッヒの自然でもよいですが、これらは論理的に要請されるか、あるいは、論理的には飛躍のある直観によつて、「神」とはストレートに言わないけれども（ハイデッガーは言っていますが）、「神的なもの」が存在する

という予感を肯定する立場です。そして、こういう立場をとるほうが、この世界を説明しやすい、ということではできるよう。だから、この立場をとるかどうかは、また、別の問題です。

Q. 9 宇宙そのものが神を追い求めて膨張を続けるという考え方は、それを信じたわけではありませんが、不思議とスッと胸に落ちました。

- 5 神についての学問・論説は、信仰がなくとも論理的に語るができるというのは、非常に面白いと思いました。(ちょうど倫理論における「神の命令説」が神の存在なくとも成立していたようなものでしょうか。)

- A. 9 すべての学問が、仮言推論(もし〜だとすれば、〜である)で成り立っているとすれば、そういうことになります。そして、もちろん、仮言(もし〜だとすれば)の部分も、推論(〜である)の部分も、さらに究明・解明の対象となるのですが、特に、仮言(もし〜だとすれば)の部分をどこまで解明できるかが、問題になるでしょう。

Q. 10 …それはさておき、読むべき本が多過ぎてどこから読めばいいのか、何かお勧めがあれば教えていただけませんか?

- A. 10 レポート用に指定した C_1〜などは、もう読みましたか? あとは、目についたものを
15 何でも読んで下さい。

閑話休題、仏教関係の諸学派の立場をまとめた論理思想史として、モークシャーカラ・グプタの『タルカパーチャー』は、量も多くないし、梶山先生の邦訳(世界の名著『大乘仏典』所収、中公文庫にもあり『論理のことば』)、英訳もあるので、サンスクリットで読んでほしい本です。

それに、Radhakrishnan, S., 1923, 1927, *Indian Philosophy*, 2 voll., London.

- 20 また、Chatterjee, S. C. and D. M. Datta, 1939, *An Introduction to Indian Philosophy*, Calcutta.

これらのうち、自分の関心のある時代や人物のところだけでも読んでおくとよいでしょう。

Q. 11 昨日、夕方に課題の pdf ファイル資料をよんでみました。今日も思ったのですが、学者によって意見がちがう点がいつもおもしろいなと思います。

- A. 11 私が学部生のとき、ある先生が、哲学はけんかだ、と言っていました。論争する、という
25 ことだと思えますが、

Q. 12 神学と宗教の違いがまだはっきり理解できていないような気がしました。「聖なる教えに属するテオロギア」と「哲学の一部門とされるテオロギア」という言葉がでてきましたが、要するに、先生が出した神父との話のようにアプローチの仕方が異なるということですか。

- A. 12 そう考えてわかるならそれも結構です。が、神学は学であり、宗教は学ではありません
30 から、最初から、神学と宗教はまったく違います。(ただ、この箇所では、トマスは、宗教 religio ということを経験にしています)そして、ご指摘のように、神学(テオロギア)と呼ばれるもの(学)には、二つあって、「聖なる教えに属するテオロギア」と「哲学の一部門とされるテオロギア」ですが、前者には信仰によって前提される、神による世界の創造とか、神の啓示とか、恩寵とかということがありますが、後者には、そういうものはありません。

- 35 Q. 13 信仰がなくても、聖事を行なえたのなら、それだけで効力をもつでしょうか。聖なる教えが学であるのなら、宗教は事効的なものとなってしまうだろうと思われま。私はどうしても神は信じませんけれど、宗教は人効きなものだと思います。

A. 13 信仰なしに理性の範囲内で理解される神学はいくらやっても、実際の生活に何らかの効力を期待することはできないでしょう。ただ、理解できるというだけです。

- 40 Q. 14 聖なる教えはアブラハム、イサク、ヤコブの行状などからなる個別的な事柄について論じることから考えると、アラン・ド・リベラが言った中世世界が二つ以上存在したということが分かるのかなと思いました。人によって考える神が違っているのです、そうではないかと、住んでいる世界が違うことかとも思いました。

A. 14 「住んでいる世界が違う」という表現がよくわかります。

西洋中世哲学史 第7回 (2018.07.03. 火)

Q.-3 私は夜寝るのが苦手なのに朝起きるのがとても苦手なんです。良くないので直したいのですがなかなか直りません。いい方法はありますか？

A.-3 日中、歩くとか何でもよいので運動をして少し体が疲れたな、という状態で寝る。目が覚めたら、とにかく、ぐずぐずせずに、すぐ起き出すこと。以上。

Q.-2 予備レポートの提出はいつまでに提出したらいいでしょうか。一回目の授業にでられなかったのでもいまだに感がありますが。あと、資料でてくるオッカムとは、オッカムの剃刀で有名なオッカムのウィリアムのことでしょうか。

A.-2 提出期限は、レポートについてのプリント見て下さい(7月、24, 26, 31日ですが、過ぎても構いません)。オッカムは、おっしゃる通り、William of Ockham です。この Q & A の p. 2, l. 25 のオッカムです。

Q.-1 自分は長崎出身で、ド・ロー神父のことについてフィールドワークで学んだことがあったのですが、今日話を聞いても何も思い出せないことがたいへん恥ずかしかった。自分の地元に関わる話くらいは知っておきたいと思いました。

Q.-1' 弾圧されたキリシタン(キリシタン)たちが広島にいたことがあるというお話に興味をもちました。時間があれば詳しく調べてみたいです。

A.-1, -1' 長崎出身の人にも、今、広島県にいる私たちにも、100年以上前のこととはいえ、この土地に起こったこととして知っておいてほしいと思います。

Q.0 先生は「天が望んでいる」からか、大学内での諸情報からひとり遮断されている、とおっしゃっていましたが、そんなかなしいことを思わないでください・・・(以下略)・・・

Q.0' 前回のコメントシートで先生は「大学内での情報に遮断されている」というようなことをおっしゃっていましたが、やはりそれが6階の住人の宿命なのでしょうか...?・・・(以下略)・・・

A.0 情報から遮断されている、と思っているのではなくて、私の知らないところで(制度上はそれで問題ない)或ることが決められて、実行される段になると、公にされるので、誰もが知ることになるのですが、その内容が、事前に私に相談があってもよいような内容であることが、一度ならず、あった、ということです。

6階の住人の住人がどの範囲を指すのかによりませんが、6階の住人の中にも情報をもっている人ともっていない人がいます。

Q.1 聖なる教えは学か、という問いへの"二"には納得したのですが、それに言及する18ページ、702行からの説明がよくわかりませんでした。

A.1 つまり、異論二に賛同するので、トマスの異論解答二には納得できないわけですね。

Q.2 赤井先生は「お前の訳は死んでいる」的な目に遭ったことがあるのですか？ それと漫画は何が好きですか？ あまりそういうのを読んでいるイメージ無いので気になります。

A.2 誤訳したことはありますが、「お前の訳は死んでいる」と言われたことはありません。自分で、「俺の訳は死んでいる」と思うことはあります。今は何も読んでいません。漫画家の名前とかタイトルすらも記憶にない(関心がないので)のですが、以前は、『りぼん』オリジナルの「有閑倶楽部」とか、「おぼっちゃま」とか「お父さんは心配性」、それに「寝棺さん」あとは「カツ井のよしなよ」がでてくるものを読んでいた記憶があります。学生が多く利用する町の食堂では、『ジャンプ』を読んでいました。「こちかめ」とか、大学院生のとき、所属の専攻分科の某先生(すでに退職されていますが)は、「Jojoの不思議な冒険」がいいとおっしゃっていたようですが、自分にはよくわかりませんでした。

Q.3 聖なる教えに上位の学があるなら、それはむしろ聖の学ではなくなってしまうのではないかと思った。上位の学が聖なる教えに値するといった方があてはまる気がした。聖なる教え=全

でのひとに適応できる学であるべき。

A. 3 「聖なる」という表現をどういう意味に解するかが問題なのでしょう。トマスの場合、聖なる教えは、この世（地上）にあるものですが、聖なる教えにとっての上位の学は、この世のものではありません。神と至福者たちの知だからです（天上のもの）。ですから、この天上の上位の学から、地上の聖なる教えに原理が伝えられるのは、神の啓示によるしかありませんが、これは、
5 地上の誰にでも伝えられるものではありません。従って、それを信じない人には、与ることができない、ということになります。

Q. 4 自分で説明するのが難しいことには、神を理由にするのが良いように感じました。トマスの『神学大全』のようなやり方で反対意見と賛成意見を並べて、どちらが妥当そうか検討したいと思いました。
10

A. 4 後半の部分は、論述や考察の方法として、アリストテレスの『トピカ』にまで遡ることのできる、トマスの『スンマ』の方法として、実行するに値する方法ですが、前半については、哲学する態度、あるいは、西洋哲学史研究の方法としても、問題があるでしょう。哲学的に神を要請する論証を自分で行ない得ている、という自信が在るならば別ですが、困ったときの神頼みでは、
15 Deus ex machina として批判されると思います。過去の哲学者が神をもちだす議論が有意味なのは、その背後に、彼ら自身の神についての哲学的議論や確信があつてのことです。

Q. 5 世界史の先生に、歴史でも文学でも、西洋圏のものを研究するのであれば、聖書は読んでおくべきと言われたことがあるのですが、先生はどう思いますか。

A. 5 何か文献を読んでいて、聖書への言及があれば、その都度、当該箇所とその前後を読む、
20 というようにしたらどうですか。

Q. 6 「人間の脳は普段何割かしか機能していない」なんて言葉をどこかで聞いたことがあるのですが、今日の 39・40 野、読字障害のお話を聞いていると、数千年前、人の脳が文字認識を始めたように、これから先、人間の脳が何か新しい認識に目覚めるようなことが、もしかしたら起こるのではないかと思えました。こうした人間の不可思議さに触れると、科学科学といわれる時代にあつても、神や宗教がけっして廃れ失われぬことも何となく納得できる気がします。
25

Q. 6' 人間が文字を使い始めてから日が浅いため、脳構造の発展が追いついていないことが、読字障害の原因になっていることは興味深いと思いました。もっと人類が先の代になれば、文字認知プロセスの脳内最適化が起こるのではないかなと思います。

A. 6, 6' 現在わかっている、ブローカ野が、音声情報から意味を認識するので、文字情報を 39・
30 40 野で、音声に変換する必要が生じているのですが、映像や文字から直（じか）に意味を認識する部分があれば、問題は解消するかもしれませんが、また、別の問題が生じるような気がします。もうひとつの方法は、39・40 野をパワー・アップすることですが...

Q. 7 医学や生物学に近い知識を持っていらっしゃるのでびっくりした。そういった人体の構造には、もともと興味があつたんですか？

Q. 7' 脳について気になったのですが、哲学者の中に脳について何らかの考えを残している人はいますか。
35

A. 7, 7' 脳そのものではないですが、生理学、生物学という点では、近世初頭ならば、デカルトの自然学関係の著作（『哲学原理』（ラテン語）の第 4 部の 188 以降、『情念論』（フランス語）、『人間論』（フランス語）など）、この生物系の哲学的思索は、バシュラールやカンギレムに連なると
40 思います。

Q. 8 ニコライ・ハルトマンのドイツ語を読むには、という質問は私がしたわけではないですが、あきらめなければ半年でもっと速く読めるようになる、という解答をみて・・・（中略）・・・1年のころから少しずつドイツ語の原文を読んでおけばよかつたなと思いました。

Q. 8' 前回の授業で質問したハルトマンはニコライ・ハルトマンで、読んでいるのは、*Ethik*
45 です。

A. 8, 8' やはりそうですか。それなら、独和辞典は、木村相良がよいかもしれません。それと、郁文堂の『独和辞典』（編集主幹、富山芳正）ですね。また、白水社の『ドイツ語不変化詞辞典』をとときどき引くこと。片山正雄の辞書は通（つう）むきかもしれませんが、よい辞書です。がんばれ、39 野と 40 野！

- 5 Q. 9 聖なる教えは学であるかの問題についての答えが、哲学と神学の学は違う学であることを言っているように感じて、二つの学が上下の関係のようなことや何かの関わりをもっているものではなく、互いに遠くはなれてしまっているように感じました。

A. 9 神学に二つあること（聖なる教えに属する、啓示による神学と、哲学的諸学に属する、自然理性による神学）をふまえて、トマスの立場からみると、聖なる教えのほうは、哲学的諸学の哲学もそこに属する自然理性による神学も取り込んで、いわば、利用する、ということが可能ですが、啓示を受けず、哲学的諸学にとどまる立場からすると、聖なる教えと、そこに属する啓示による神学は、そもそも、未知のもので、その存在すらわからない（というより、そんなものはない！）と主張することになるのでしょうか。

15 Q. 10 モークシャーカラ・グプタの「タルカバーシャー」の英訳はぜひ読んでみたいです。英語力を上げる助けにもなりそうですし、夏休みにサンスクリット語を読んでからもういちど読みたいです。

A. 10 前回、インド哲学の学生向けに書いたのに対して、インド哲学以外の学生から反応があったのは、うれしい（と言っているのか、印哲の先生！）ことです。前回紹介したように、日本語訳は入手しやすいですが、サンスクリット原典と、英訳は、どこにどういう仕方で存在するのか、本のタイトルは、原語でどうなのか、それは、日本語訳に、梶山先生が注記していますから、それを見て下さい。なお、『タルカバーシャー』は一部分、サンスクリットが写本に欠けていて、チベット語訳で補われています。

25 Kajiyama, Y., 1966, An Introduction to Buddhist Philosophy – an annotated translation of the Tarkabhāṣā of Mokṣākaragupta, *Memoirs of the Faculty of Letters, Kyoto University* (『京都大学文学部紀要』) No. 10.

これは、大学の紀要なので、入手しにくいのか、1998 年に、梶山先生が修正を加えて、ウィーンでプリントされています。

Kajiyama, Y., 1998, An Introduction to Buddhist Philosophy – an annotated translation of the Tarkabhāṣā of Mokṣākaragupta, *Wiener Studien zur Tibetologie und Buddhismuskunde*, Heft 42.

- 30 Q. 11 授業初めの話もおもしろいのですが、個人的に『神学大全』の内容に興味が出てきはじめたので、もう少しそちらの解説の時間をとっていただけるとありがたいです・・・問題提起してから、異論・反対異論、解答、異論解答という流れが明確にわかる神学大全（『神学大全』）の進み方は結構好きです。

A. 11 どうも済みませんでした。私は古代が専門なので、中世のことに関しては素人ですから、このくらいで勘弁して下さい。興味が出てきたのなら、ラテン語を学んで、原典で、『スンマ』を読んでください。日本語で読むより、わかりやすいですよ。（最近亡くなった、桂歌丸さんの言葉に、「楽をしたいと思ったら、苦勞することですよ」というのがあります）

Q. 12 自分は暑がりです。周りは平気な顔でも自分だけ額に汗をにじませているということがよくあります。授業にも集中できないので、何か大作はないでしょうか？

40 A. 12 先生に言って、エアコンをつけてもらおうとか、扇子（せんす）か団扇（うちわ）を用意して扇（あお）ぐとか、どうでしょうか。

Q. 13 西洋に於ける宗教感（ママ、観？）は、よくわかりません。

A. 13 私も、わかりません。

西洋中世哲学史 第8回 (2018.07.05.)

Q.-5 神学と進学のダジャレがおもしろかったです。

A.-5 あと思いつくのは、江戸時代の通俗的な道德教育としての「心学」でしょうか。

Q.-4 先生が りぼん のような少女マンガを読んでいたという事実はとても意外でした。私
5 は現代よりも昭和の少女マンガの絵が好きです。

もうすぐ七夕ですが、先生は何を願いますか？

A.-4 平和を。

Q.-3 雨がすごいですね。先生は雨はお好きですか。

A.-3 雨自体はあまり好きではありませんし、ショパンの「雨だれ」も好きではないのですが、
10 ブラームスのヴァイオリン・ソナタ第1番ト長調作品78「雨の歌」を、ブラームス自身が、チェ
ロ用に編曲して、チェロ・ソナタニ長調というのを作っていますが、これの「雨の歌」の由来の
第3楽章よりも、第1楽章が好きです（ヴァイオリン版はよく耳にしますが、チェロ版はめった
に耳にすることはありません）。

Q.-2 文科省の局長が東京医大に便宜を図った件で、その息子の方はどうなってしまうのだろ
15 うかと考えてしまいます。

A.-2 どうするんでしょうね。しかし、彼にしか生きられない人生の条件を与えられたわけ
ですから、逆にこれをバネにして、何かやらかしてほしい気もします（もちろん、何かよいことを、
です）。

Q.-1 雨の日は学校へ行きたくなくなります。家から一歩も出たくありません。どうすればよ
20 いですか。解決策があれば教えてください。無ければ諦めます。

A.-1 雨でも大学へ行きたくなるような何かがあれば、無理せずに家にいてもよいのではな
いでしょうか。

Q.0 「私の存在がハラスメント」という言葉がとても面白かったです。私は新たな考え、斬
25 新な意見を出すのが苦手なので、オッカムが何でもシンプルに考えようとするように、今までに
ない展開を思いつく哲学者たちはとてもすごいなと思います。

A.0 正確には、「存在自体がハラスメント」です。ラテン語で言えば、"esse ipsum vexatio (est)"
でしょうが、vexatio では、ちょっと、現代のハラスメントとニュアンスが違うような気がするの
で、造語して、"esse ipsum harassmentum (est)"のほうが、modern Latin としていけるような気がし
ます...

30 それまでになかった考え方や発想をするには、本人の才能も必要でしょうが、そういう発想を
せざるをえないような思想状況があったということも言えると思います。そういう場合、既存の
ことばでは表現しきれなくて、既存のことばを違う意味で使うか、新しいことばを作ってしまった
りするわけです。アリストテレスの『カテゴリー (範疇論)』もその例です。

Q.0' 固定的なものの見方を離れて、柔軟な思考ができるようになりたいなと最近よく思い
35 ます。

A.0' 脳ミソのマッサージでもしますか。

Q.1 神学大全（ママ、『神学大全』）を読むことが、とても長い年月と大変な労力を伴うのなら
ば、それを作成した、それらは、はかり知れないと思った。

A.1 ところが、トマスの伝記によれば、1265年に書き始め、他の仕事もしながら書きついで、
40 1273年に、一切の著作活動を停止していますから、7~8年で書いたことになります。他の著作や
仕事もしながらですから、すごいと思います。

Q.1' 意味をきちんと理解しながら『神学大全』を読むのはとても時間がかかりそうですが、
内容はおもしろいので丁寧に読んでいきたいと思いました。

A. 1' 『神学大全』を読む際に、そこに引用、言及されているアリストテレスやアウグスティヌスの著作、その他も調べて読むことによって、トマスが何を前提に議論を展開しているのかを知ることになり、それは同時に、私たち自身も哲学史の勉強をすることになります。

Q. 2 「聖なる教えは学であるか？」の1つ目の異論、これはおそらく、信仰箇条は皆が信じているわけではないので、皆にとって自明のことではない、という意味だと思うのですが、それに対してのトマスの反論が、神の啓示を上位の学とした学問であるから聖なる学は学である、は少し理解できなかつた。

A. 2 トマスの議論は、啓示を認める立場（信仰のある人たち）から、「聖なる教え」には、上位の学として「神や至福者たちの知」があるので、「聖なる教え」は「学」である、と言っている10ので、啓示を認めない立場（信仰のない人たち）から、無理に納得する必要はありませんし、納得できないのが当然です。ただ、「聖なる教え」には、上位の学として「神や至福者たちの知」があるとされている、という学相互の関係が理解されるだけです。

Q. 3 聖なる教えを扱うためには神が大事なのか、聖書が大事なのか考えました。聖書があるから聖なる教えに取り込む「神の学」がありえるのではないかと思います。

A. 3 「神の存在を信じない」という人たちにとっては、想像もできないことかもしれませんが、聖書か、神か、ということではなくて、世の中には、ただひたすら、神のことが気になって仕方がない人たちがいて、その人たちにとっては、神以外のことは二の次で（どうでもよく）、神のことを少しでも知りたい、神に会いたい、とこの世ではかなわないことを、希（こいねが）う気持ちにかりたてられて、聖書を読むのもこのためなのです。そういうキリスト教徒の願いは、 visio 20 Dei（見神）、つまり、神を見ること（神に会うこと）なのです。

Q. 4 "質料から離れて"という言葉は、私には理解し難い。三角形の例なら、不動という意味で、公式のようなものかと思つたが、"三角形そのもの"ではないし、概念としてそもそも違う。

アイデア、などとなじみが少ないために理解できないのだろうか、と思つた。

A. 4 数学的対象はそもそも何なのか、どこにあると言えるのか、ということは、少なくとも、25 プラトン以来、問題でありつづけています。アイデア(idea)については、プラトンのアイデア論のアイデアがどこにある、どういうものなのか、ということから始まって、ギリシア哲学がキリスト教と出会うと、神のアイデア（神の中にあるアイデア）となり、近世以降、それが、人間の（頭の中の）観念（アイデア、アイデア）に転じるという経緯があります。アリストテレスの段階で、"質料から離れて"とういうのは、砂の上に描かれた三角形（物質的な線による）ではなくて、それがどこにあるかは別にして（プラトンのような理想的なアイデアの世界にあるのか、人間の頭の中にある30 概念なのかは別にして）、"三角形そのもの"という意味で言われています。

Q. 4' 質料から離れて独立したものを考えたときに「時間」はどうだろうかと思つたが、「時間」は絶えず変化しているのでやはりそのようなものは自分では見つけられなかつた。

A. 4' 時間が変化しているといえるのかどうかは、要検討ですが、古来、時間をどう扱うかは35 むつかしいので、別途考える必要があります。アリストテレスの『自然学』の「時間」の定義、カントの直観の形式としての「時間」と「空間」の「時間」、バルクソンの「持続」など。

Q. 5 神学を大まかに2つに分類した際の「聖なる教え」の方は、道徳的役割で、哲学的諸学は学びの対象ということでしょうか。見当違いの質問でしたら申し訳ありません。

A. 5 よいところに気がつきましたね。見当違いではありません。「聖なる教え」は、キリスト40 教徒にとっての、この世での生き方を導き、指針を与えるものになるので、その点で、道徳的といつてよい側面があります。

Q. 6 「観想」を辞書でひくと、ギリシャ語で「眺めること」の意と書いてありました。不動のもの、私たちから独立して存在するものを「眺める」というのは、私たちが「する」ことも「つくる」こともできないけれど「ある」という意味合いがこもっているような気がしました。

A. 6 アリストテレスに限らず、ギリシア人には、「観想」（見ること、思うこと）を「実践（行

為)」や「制作」よりも、すぐれてのぞましいこととする考え方が根底にあります。その理想的な姿として、「思惟の思惟」としての、そして、「(自分とは動かずに)愛されるものとして、他のものを動かす」「不動の動者」とされる、アリストテレスの「神」の考え方があります。そして、「観想」は、「肉眼で見る」ことだけでなく、いわば「心の目で観(み)る」ということも含まれており、むしろ、このほうが重要なのです。

Q.7 この前、3年生の方たちが、先生のラテン語の演習授業を受けているのを見て思ったのですが... 私はすでに言語の授業を2つとっていて...卒業単位には足りているのですが、のちのちのことを考えれば、必要単位数に関わらず、2年生のうちに後期の授業等でラテン語をとっておくべきなのではないでしょうか。

A.7 ラテン語だけと言わず、ギリシア語、フランス語も機会を見つけて勉強して下さい。あの授業では、単位とは関係なく出席している人が少なくとも2人いますし、自分が興味をもって勉強したいことは、単位とは関係ない授業や読書会・勉強会で学ぶことが多いような気がします。ちなみに、件の授業のテキストは、トマスの *De ente et essentia* というラテン語のものですが、その英訳、独訳、仏訳も読むので、人によって、英語、ドイツ語、フランス語だけ、とか、ラテン語、英語、ドイツ語とか、各自が読めるものを読んでもらっています。4Tの「西洋古代中世哲学研究」では、W. Jaeger の *Paideia* というドイツ語のテキストと、その英訳、仏訳、伊訳、西訳をあわせて読むので、年度によって、出席者ごとに、英独だけ読む人とか、英語とスペイン語を読む人とか様々です。

Q.8 先生の専門は古代とのことですが、中世哲学史の授業も担当していることについて、広島大学にその専門家がいらないからだということになるとは思いますが、先生の行っていた大学では、哲学の専門家の揃い具合はどのようであったのでしょうか。

A.8 今も昔も、文学部だけで、古代、中世、近世、現代とそろえているところは、わずかな大学しかなく、文学部と教養課程の学部(教養学部とか総合科学部とか)をあわせると、近現代以外に、なんとか古代、中世がそろえ、というところもわずかです。名大は(今はちがいますが)、以前は、中世哲学が専門の大鹿先生が、古代も中世も担当されて、ギリシア語もラテン語も読んでおられました。当時の教養部に古代の大沼先生がおられて、文学部でも授業を担当されて、ギリシア語を読んでいました。他に、ドイツ哲学の黒積先生とフランス哲学の山田先生がおられて、全体として、英語、ドイツ語、フランス語、ギリシア語、ラテン語と5ヶ国語の演習が開講されていました。京大も古代、中世、近現代とそろっていて、英語、ドイツ語、フランス語、ギリシア語、ラテン語と5ヶ国語の演習が開講されています。広島大学も、しばらく前までは、中世哲学の水田先生がおられて、授業も、英語、ドイツ語、フランス語、ギリシア語、ラテン語の授業が開講されていた時期があります。

Q.9 最近集中力が続かないことが多いです。一つのことをしていても、気になる事が多くて目の前のことを片付けることができません。何とかしなければという気持ちはあるのですが...

A.9 一定時間、連続して従事しなければならない作業以外は、人によって、また、そのときの状態によって違うでしょうが、集中力が持続するのは、10分とか15分だとすると、いくつかの作業を、切り替えて(時間を区切って)やればよいのではないですか。

Q.10 ドイツ語を学ぶにあたって、辞書を使うなら電子辞書より紙の方がいいと思いますか？

A.10 ドイツ語に限りませんが、すでに知っていることを確認するためには、電子辞書が便利ですが、未知の語の用法や意味を知るためには、紙媒体の辞書のほうが適していると思います。

Q.11 ラテン語の書物を扱っている書店はどういところがあるのだろうか... (中略)... 西日本で、ラテン語やドイツ語、フランス語などの書物を扱っている書店(古本屋でかまいません)をなにかご存知ですか？

A.11 いくつも知っています。が、古本屋で欲しい本を入手するのはむしろむづかしいと思います。なぜなら、日本には、そんなにラテン語の本の読者がいませんから古本がでるのは稀です。

古本では、自分が読みたい本はなくて、たまたま売りに出された本があるだけです。(私は高校生のときから、今はなくなってしまった、神戸の後藤書店の2階や、丸善に行って英語の本を買っていましたが、ヴァスバンドウの『アビダルマコーシャ』のサンスクリット本もそこで買いました。大学に入ってから、名古屋の丸善には友達とよく行きました) 洋書に限らず、本は、注文して取り寄せて買う、というのが基本です。

Q. 12 今日の講義では、神学の用法の違いが印象に残った。文学的な学問では、言葉の使い方は結構重要なウエイトを占めるし、こだわらないといけない部分だと思うので、ことばの用法にはこだわって勉強に励みたいと考えている。また、他の授業でも似たような話があれば意識したい。

A. 12 他の授業でも似たような話があれば、教えて下さい。

10 Q. 13 3つの観想的な哲学のうち、最も尊いものが神学であることがわかりました。

哲学をやってきた前提で語られていることがわかりました。だから知らなくても知っているとっておけば大丈夫だが、後でバレると大変なことになる、という話は面白かったです。

15 A. 13 どの集団・組織の中で「大変なこと」と認識されるかによりますが、まず、まずいと思った連中が、隠蔽したり、なかったことにしようとする力がはたらきます。一定の期間、一定の範囲内ではなかったことにできても、究極的には、それはいけないことと考えるべきです。

Q. 14 レポートのテーマの決め方がわかりません。

20 A. 14 予備レポートを課す意図は、学問的な書式、学術的な書き方ができるかどうかをチェックすることですから、この際、なんでもかまいません。「～について」とか「～を読んで」というようなもので結構です。最終レポートは、多少は、どこに目をつけたか(着眼点を表すような)、何を問題としているかがわかるようなタイトルを(つまり、テーマを)つけるほうが望ましいと思います。

25 予備レポートでは、指定されている文書(pdf)の内容からして、中世哲学そのものよりも、哲学と哲学史の学び方が問題にされているので、中世哲学に限らずに、哲学や哲学史の学び方をテーマにしたレポートを書く人がいますが、それも結構です。さらに、哲学と哲学史の学び方と言っても、哲学を専門にやろうという人と、そうではない人では、取り組み方に違いがあるだろうから、という点に目をつけてレポートを書く人もいます。実際、例えば、教員の立場から、(哲学を専門的に学ぶために必要な)外国語の知識がない人たちに、教養科目として哲学をどう教えればよいのか、ということテーマに研究している人たちがいるので、そういう人たちの研究論文を援用してレポートを書いた例があります。それは、レポートを書いた学生が、「先生は哲学をやるには、最低、英独仏希羅の5ヶ国語必要」と言うけれども、そんなの誰にでもできるわけじゃない、という疑問に端を発して、翻訳だけでどこまでのことが勉強できるのか、ということ調べてようとして、前述のようなテーマでレポートを書くことになったようです。自分の抱いた疑問そのものがテーマになっているわけではありませんが、自分の疑問がきっかけになっているのです。

35 まず、指定された文書のどれかを読み、疑問に思うこと、(何を言っているのか)わからない点を書き出して(直接引用、間接引用して、疑問を自分のことばで書く)、それは、調べれば解決する問題なのか、そうではなくて、時間をかけて考えなければならない問題なのか(ひよっとすると、一生答がでないような類の問題かもしれない)をちょっと考えてみることです。

40 自分が知らないだけで、調べれば解決する問題は、調べればよいので、そうではなくて、時間をかけて考えなければならない問題の場合(例えば、先の例の、「外国語の知識がない人たちに、教養科目として哲学をどう教えればよいのか」は、決定的な答はなく、常に、模索される問題でしょう)、レポートで解答や結論が出るものではないので、解答の方向性や可能性が示されるだけでもよいのです。あるいは、そこまでも行かなくて、自分は、こういう理由で、少なくともこう考える、という思考の途中経過を示すところで終わってもかまいません。

西洋中世哲学史 第9回 (2018.07.17.)

→ R. Christopher, *The Japanese Mind* についての質問

無回答は 16 名, 回答した者は 11 名 (うち, 正解者はなし).

→ 今後の授業テーマについての質問

無回答は 21 名, 1. 推論の必然性は 5 名, 2. 三位一体は 1 名.

5

Q. 1 アリストテレスの『形而上学』の中には度々「質料」や「実体」という言葉がでてきますが, この両者は意味合いが非常に似ていると感じることがありました (私の勘違いでしたら申し訳ありません). しかし, 今日の講義を聞いても思いましたが, 言葉の使い方, 含む意味合いというのは繊細な問題で, 「質料」「実体」という 2 つの言葉もしかり, 日本語訳にあてられた意味を注意して考えてみななければならないのだろうと改めて思いました.

10

A. 1 勘違いではないだろうと思います. 「質料」は「形相」の対概念で, 「実体」は「量」「性質」「関係」等の範疇 (カテゴリイ) の一つですから, 「実体」とは何かと問われた場合, 「質料」である, とする立場がありますから, その場合は, 「実体」が「質料」とみなされるわけです. しかし, 別の立場では, 「実体」は「形相」である, という見方もあります. さらに, 「実体」は「形相」と「質料」の結合体である, という立場もありえるので, アリストテレスは, これらの見方を使い分けています.

15

Q. 2 今はヨーロッパの言語を学んでばかりなのでアジアやアフリカの言語を学んで, その本を読んでみるとおもしろそうだった.

A. 2 よいことです. 相互理解と世界平和の実現に向けて希望がもてます. が, まず, 翻訳 (つまり, 日本語) でも読めるものとして, 「四書五経」で読んだことがないものがあれば, それを, そして, 「世界の名著」のシリーズから, 『バラモン経典・原始仏典』と『大乘仏典』を, あとは, 『コーラン』をどうするかですが, 最近出た, 松山洋平編, 2018, 『クルアーン入門』 (作品社) で見当をつけるのはどうでしょうか.

20

Q. 3 イエルサレムが実は他のところであって, 3 つの宗教は何のためにこんなにも長い時間争っているのでしょうか.

25

A. 3 一旦, 宗教が成立して, 千年, 二千年と経過し, 組織や集団ができてしまっているのです. いまさら, 引っ込みがつかないのでしょうか. しかし, 第二次大戦後のイスラエル建国に関しては, イギリスに責任があると思いますが...

カマル・サリービー, 1988, 『聖書アラビア起源説』, 広河隆一, 矢島三枝子訳, 草思社.

Salibi, Kamal, 1985, *Die Bibel kam aus dem Lande Asir, Eine neue These über die Ursprünge Israels*, Hamburg: Rowohlt.

30

Q. 4 西洋中世哲学史概説の講義共通 Web サイト 2017 にある pdf ファイルにある「西洋中世哲学史概説」関係の C_1, C_2, C_3, C_4, M_2 はまだ読むことが可能ですか? もい 1 回読めるようにして欲しいです.

35

A. 4 今でも読めるはずです.

Q. 5 今のうちに必要ないとしても引き出しを作っておく, というのは大学に入ってから何度も大切だなと感じたことでした. 実はこの授業を受けるか, ギリシア語の授業を受けるか迷ったのですが, どちらも受けるのが引き出しの数的に良いと思うので, 来年ギリシア語を学ぼうと思います.

40

Q. 5' すぐに必要となることがないことに関しても, 将来, 必要になる可能性があるから取り組んでいた方がいい, ということは生きて行くうえで大切な考え方だと思いました.

A. 5, 5' 大学でしかできないことをやっておく, ということが大切でしょう.

Q. 6 ラテン語やフランス語は独学でも十分身につけることは可能でしょうか。

A. 6 「十分身につける」の内容・意味によりますが、もし、自分が英語やドイツ語を独学でやっていたら、どれくらいのレベルまで修得できているだろうかと考えてみればどうでしょう。

Q. 7 中世の大学についてレポートを書こうと思うのですが、それも可でしょうか。

5 A. 7 可です。

Q. 8 先生は元から哲学を志す人だったのですか。先生のルーツを教えてください。哲学でなくとも。

A. 8 『人文学へのいざない』を読んで下さい。ルーツより、フルーツが好きです。

10 Q. 9 長い休講と W 挿で崩れた生活リズムでしばらく大変そうです。先生は長い休講でどんな影響がありましたか。

Q. 9' 大雨で長く休みが続きましたが、何をされていましたか？

A. 9, 9' 小人間居為不善（『大学』伝六）。と思いますか？ Walter Olbertz の弾くハイドンのピアノ・ソナタ全集 (CD9 枚組) を聴いていました。

15 Q. 10 昨日、部活の同期と呉市安浦町のボランティアに参加してきましたのですが、想像を超える現状に驚きました。実際に現地に行かなければ分からないことや考えられないことは多くあると感じました。広大生である以上、できることは何でもするべきだと思いました。普通に授業が受けられて、毎日部活ができること。ことは特別なことだと考え直しました。

20 A. 10 貴重な体験ですね。いずれ、他の様々な体験との関係から自分の中で意味付けがなされて、経験と言えるものになる（はず）というのが、森有正の考え方でしょうか。安浦の盛川酒造（広島地酒白鴻をつくっています）は無事だったのでしょうか。

ボランティアについては、自分でも実践しながら考察したものに、八木雄二、2000、『中世哲学への招待』（平凡社新書）があります。著者が専門とする、ドゥンス・スコトゥスについて取り上げた、よい本であると思いますが、古本でしか手に入らないのが残念です。

25 八木さんが自分の院生時代をふりかえっている箇所がありますが、そこで言われていることは、哲学の場合、学部生にもあてはまると思います。

西洋中世哲学史 第 10 回 (2018.07.19.)

Q. 1 最近ひどく落ち込む出来事がありました。オススメの気分転換があれば教えてください。

A. 1 出来事次第では、さらに落ち込むかもしれないのですが、次の絵本を読むこと。

あまん きみこ・作 黒井 健・絵, 2007, 『天の町やなぎ通り』, あかね書房。

5 Q. 2 「徳運がない人は不幸になる」という考えは、ネガティブに考えてしまう人のことを言っているのではないかと思う。少しの運に対し幸せを感じれない（ママ、感じられない）ほど幸せのハードルが高い人は理想が高く、なぜ自分だけがこんなに不幸なんだと考えてしまう。よって（ママ、従って、だから、そういうわけで）その人は不幸にも見えるし、自らも不幸だと考えてしまうのではないか。

10 A. 2 おっしゃる内容についてどうこう言うことはありませんが（そもそも、不勉強な私には分からない語句があるので）、一カ所だけ、「よって」の使い方は、典型的な広大方言だなあ、と思います。

Q. 3 外国語を修得するうえで人によって得意不得意はなぜあるのでしょうか。

15 A. 3 理由があるとすれば、外国語だけではなくて、母国語でも、人によって程度の差があるのと同じなのではないですか。

Q. 4 *The Japanese Mind* の問題は、説明されたらなるほどと思いましたが、自分では気づけなかったです。まだまだ読みが足りないと思います。

20 A. 4 本の大きさによりますが、正しい仕方で、2,000 ページくらい読めば、読み間違えることも少なくなるでしょう。正しい仕方で、というのが難しいのですが（分かってない人は、自分が間違っていることに気づかないから）、自分よりも読める人と一緒に読んで、間違いを正してもらうのが一番早く読めるようになる方法です。それは、演習とか講読とか、それ意外にも、授業とは関係なく自主的に組織された読書会などがその機会になります。そういう、院生や学部生によって組織された、読書会が（それも一定以上のレベルの）どれくらい行なわれているかが、その大学のレベルがわかるメルクマールです。

25 Q. 4' 僕は先週提示された英語の文の主語が分かりませんでした。自分も実は浪人生で予備校に行っていて、当時はそれなりの偏差値があったので、先生の言っていることが痛いほど伝わります。（自分の出来は悪くて偉そうなことはいえませんが）先生は現在の日本の教育をどう思われますか。

30 A. 4' 北斗神育（ほくとしんいく）の継承者、育四郎（いくしろう）ならば、「日本の教育はすでに死んでいる」と言うかもしれません。

実は、昨年度（2017 年 4 月～2018 年 3 月）、自分の専門とは直接関係ない調べもののために、読んだ本が以下の通りですが、どれも、「日本の教育はすでに死んでいる」と言っているようなのです。

阿部公彦, 2017-2018, 『史上最悪の英語政策 ウソだらけの「4 技能」看板』, ひつじ書房。

35 鳥飼久美子他, 2017, 『英語だけの外国語教育は失敗する』, ひつじ書房。

鳥飼久美子, 2018, 『英語教育の危機』, ちくま新書。

刈谷剛彦, 2017, 『オックスフォードからの警鐘 グローバル化時代の大学論』, 中公新書ラクレ。

刈谷剛彦, 2012, 『学力と階層』, 朝日文庫。

40 刈谷剛彦, 2012, 『アメリカの大学・ニッポンの大学 TA、シラバス、授業評価』, 中公新書ラクレ。

刈谷剛彦, 2012, 『イギリスの大学・ニッポンの大学 カレッジ、チュートリアル、エリート教育』, 中公新書ラクレ.

橘木俊詔, 2015, 『フランス産エリートはなぜ凄いのか』, 中公新書ラクレ.

5 Q. 5 3ターム以降, ギリシア語かラテン語の授業をとろうか迷っているのですが, 強いて言うなら, どちらの方が取り組みやすいとありますか? 時間割に余裕があれば両方とろうかと思

います.
A. 5 すでに知っているラテン字体 (=ローマ字) を使っているという点でラテン語のほうが楽でしょうね. 是非, 両方学んで下さい.

Q. 6 神がもつ学は, 数学のように非常に精密な学なのでしょうか.

10 A. 6 自然理性の光にしか照らされない人間の理性・知性には限界があるので, 神がもつ学を知ることにはできないので, 人間が営む学にある不備や不正確さがないのだろうと推測するしかありません.

Q. 7 先生の人生において忘れられない出来事はありますか.

15 A. 7 阪神大震災の前日, 当時住んでいた京都で, 夜, 塾のバイトを終えてから, 実家に用事があって, いつもは阪急ですが, 時間がないので, 新幹線で神戸の実家に帰りました. そして, 翌日, 早朝, あの地震に遭いました. 幸い, 人的被害はなかったのですが, その後, いろいろあって, 数日後には, 自転車や徒歩, それに西宮北口から阪急と複数の交通手段で京都に戻り, 地震の後, 後輩の大学院生にはじめて会ったとき, 一言, 「なんや, 生きとったんか」と言われたことが忘れられません.

20 でも, 実は, 学生たちと哲学研究室で, バウムガルテンの『美学』(ラテン語)と, マウトナー(ドイツ語)を読んでいると, 某先生が, 「今日のやるところでわからん単語がひとつあるう～」と言って, 辞書を引きに来たことが一番忘れられません.

25 Q. 8 「神感」という言葉がやはりまだいまいち理解できないので, ネットで検索してみたところ, Wikipediaのテモテ後書の項目には, 「神の感動」(翻訳者がよくわからなかったのですが), 新訳(ママ, 約?) 聖書口語訳(1955年版)には「神の靈感」と書かれていました. 今までは人間を超越するような神の力なのかなあ・・・とぼやーっと考えていましたが, 感動と靈感では大分差があるように感じます.

A. 8 いい加減, 翻訳にかかずらうのはやめなさい.

30 新共同訳(日本聖書協会)では, 「テモテへの手紙 二」3.16は「～神の霊の導きの下に～」となっています. 原典は, *θεόπνευστος* で, トマスが引用しているラテン訳も, *divinitus inspirata* で, どちらも直訳すれば「神に(よって)息を吹き込まれて」という意味ですから, それぞれの日本語訳は, これを意識しているのでしょうか. 3つの日本語訳の中では, 新共同訳が, いちばん原典に近いと思います. 「神から何かを知らされて」という意味ですから. 紹介された, Wikipediaの訳も, 口語訳(1955年版)も, 前後も見ないと断定はできませんが, 正しく訳されているとすると,
35 「神の感動」と「神の靈感」の「～の～」は, *objective genitive* で, その意味は, 「神を感じて動かされて」と「神を霊によって感じて」となるはずで, 聖書は, そして, 聖書を, 実際, 書き留めた者は, 神から何かを受け取ってそれを書き留めた, ということを行っているので, 神は人間を超越していようが, とにかく, 神からの何らかのはたらきかけがあったことを主張しているのです. しかも, 原典には, 「感動」とか「靈感」とかいう直接的な表現はありません. これらは意識され
40 て出てきた表現でしょう. 原典にはないものをわからないと言って, 頭を悩ますのは, 無駄です.

アリストテレスが分詞の形で「ヘクシス」のことを言っているのを「ヘクシス」とは気づかず(ひょっとして, 哲学史の知識がないのかもしれない), 意識されたドイツ語訳をさらに日本語に重訳して, 「全く規定された, 確固たる根本姿勢」とか本に書いているどこかの先生と同じですね. 北斗神訳の継承者, 訳四郎なら, 「お前の訳はすでに死んでいる」と言うでしょうね. まあ, こう

いう Q & A をやっているようでは、北斗神講の継承者、講四郎に、私は、「お前の講義はすでに死んでいる」と言われてしまうでしょうが。

Q. 9 今回授業で言及していた『テモテ後書』による反対意見の対比がおもしろかったです。哲学におけるテオロギアと神学におけるテオロギアの違いについてまた詳しく知りたいなと思いま
5 した。今度時間があれば教えて下さい。

A. 9 自分でも調べてみて考えて下さい。でも、時間があればチェロを聴きたいのではなかったですか。

Q. 10 神の学の二つの意味と自然理性の光を否定しないことから見ると、人間は人間の理性、もしくは人間だけでは十分でない存在だとトマスは考えたように思いました。どうしても神が必要で神について研究しているように見えました。
10

A. 10 その通りです。

Q. 11 「自然理性の光によって」という表現の仕方はいいなと思いました。

A. 11 近世の連中にとっては、この「光」というのが、一種の標語のようになっていますね。コンディヤック (Condillac) の『論理学』の表紙に、「パオス (ギリシア語で、光)」というのがあったことを思い出しました。
15

Q. 12 神の啓示が人間の救済に必要ということをもし現代で言ったら、怖い、あやしい、宗教にでもはまったのかななどと言われると思うのですが、先生はこのギャップについてどう思われますか。

A. 12 既存の宗教の場合 (例えば、キリスト教)、神の啓示はすでになされている (聖書) ので、それを信じるかどうかの問題ですから、あやしくも、ギャップ (何と何の?) も感じませんが...
20

Q. 13 ボランティアについて、日本人と外国人では捉え方が異なるというのは考えたことがなかったのが驚きました。

Q. 13' よく「本当に被災者のことを想っているワケではないボランティアは偽善だ！」などという意見を聞くことがあります。今回の件では、僕も暇だったのと先輩に誘われたからという理由でボランティアに参加したのですが、これは偽善でしょうか？
25

個人的にはどう思っようと、それが他人の為になればどうでも良いと考えているのですが、これは宗教的に見るとどうなのでしょう？

A. 13, 13' 八木雄二さんが指摘する、個人単位のボランティアの立場からすれば、他人からどう思われようとも、いわゆるボランティアの活動をすればよいのでしょう。そして、これは、宗教の問題ではないと思います。日本で行なわれている活動は、西洋人が想定するボランティアというよりは、助け合いとか、何か、個人単位のボランティアとは別の社会的基礎に基づいている部分があるのかもしれない。
30

しかし、これは、その社会的基礎になっているものが、ボランティア活動の場面で、現われただけで、ボランティア以外の場面でも言えることなのかもしれません。

Q. 14 日本的「自由」についての考えは、仏教の悟りの領域が一番何にもとらわれていないので「自由」なのではないかと思った。そう考えると他の国でも主要な宗教によって「自由」の考え方は違うのだろうか。
35

A. 14 「自由」に相当する言葉が、それぞれの国や時代の言葉で、どういう原義をもっていたのかを調べてみると、何かわかるのかもしれないね。

Q. 15 同じキリスト教でも「土地柄」によって違うのかも、と先生がおっしゃっていましたが、私も、宗教観は風土 (自然観?) に左右されると信じています。自然観は宗教や神だけでなく、自他関係や倫理観にも、ひょっとすると哲学にも影響しているのではないかとも思います。「自由」だとか「意志」だとかいうものの見方が西洋人と日本人とで違うのも、その類かもしれない・・・と考えてしまいました。
40

A. 15 オーギュスタン・ベルクの「風土」を思い出してしまいました。和辻哲郎の「風土」も、今、「環境」というと、自然環境や物理的環境がまず、問題になりますが、知的環境や、教育環境も無視できないのに、気づかないか、気づいていないふりをしていることが多いのではないかと思います。日本のキリスト教神学は、バルトなどのドイツの神学の影響を受けていたので、「バビロン捕囚」になぞらえて、日本のキリスト教神学の「ゲルマン捕囚」と揶揄されることがあった
5
50
55
60
65
70
75
80
85
90
95
100
105
110
115
120
125
130
135
140
145
150
155
160
165
170
175
180
185
190
195
200
205
210
215
220
225
230
235
240
245
250
255
260
265
270
275
280
285
290
295
300
305
310
315
320
325
330
335
340
345
350
355
360
365
370
375
380
385
390
395
400
405
410
415
420
425
430
435
440
445
450
455
460
465
470
475
480
485
490
495
500
505
510
515
520
525
530
535
540
545
550
555
560
565
570
575
580
585
590
595
600
605
610
615
620
625
630
635
640
645
650
655
660
665
670
675
680
685
690
695
700
705
710
715
720
725
730
735
740
745
750
755
760
765
770
775
780
785
790
795
800
805
810
815
820
825
830
835
840
845
850
855
860
865
870
875
880
885
890
895
900
905
910
915
920
925
930
935
940
945
950
955
960
965
970
975
980
985
990
995

Q. 16 イスラムとキリスト教で言う神さまは、同じ人物を示すようですが、三位一体にしても、ずいぶんと異なっているように見えます。でも、最初のところは、今より、あの二つはそう異なっていなかったのでしょうか。

A. 16 「同じ人物」というのは、ちょっと、まずいので、せめて、「同じ対象」と言っておくほうがよいでしょう。ユダヤ教については、不勉強にして何とも言えないのですが、キリスト教の場合は、パウロ、イスラム教の場合は、ムハンマド（マホメット）のように、人々を引きつける強力な方向性を示した人物が出ると、『旧約聖書』、『新約聖書』、『クルアーン（コーラン）』のそれぞれで、「同じ対象」が、異なる性格付けをされて表現されることになっているのだと思います。

Q. 17 ……日本の研究者にも両国（アラブ、イスラエル）に受け入れられている専門家がいらっしゃるのと事ですごいことだと、不思議に思いました。

A. 17 私は不勉強にして存じ上げませんが、その専門家は、ユダヤ教徒でも、イスラム教徒でもなくて、そしてキリスト教徒でもなく、仏教徒なののでしょうか。

Q. 18 語句の意味を調べる時に、名詞形なども一緒に調べることで学習が4倍になるときいてなるほどなあと思いました。僕は面倒くさがりなのですが、自分の専攻の論文などで分からない単語があったらそのようにしたいです。

Q. 18' 辞書をひくことは大事だなと思います。英語などを訳す際に細かいニュアンスまで汲みとるために必要であると感じました。1単語にいろんな意味があるのでその都度調べていけたらいいと思いました。

A. 18, 18' 文を読んでいくときに、単語レベルで、ひとつひとつの意味を調べてわかった、というのは「体験」で、これは、増大していきませんが、そのひとつの単語に、いくつの品詞の用法があり、何十もの意味があっても、それらを総合して結び付けて自分のものになると「経験」ということができる、ということ、以前配布した、森有正の文章（「霧の朝」）から読み取って欲しかったのです。

Q. 19 いま、授業で新しく習っている言語と独学でやっている言語があるのですが、できる限り、授業で習う方が自分には合っているかなと思います。

A. 19 大学に在学中は、授業を利用するのが、経済的にも賢いやり方だと思います。

Q. 20 大雨がちょっと前まで降っていたのに、今は晴れ続きですね。先生は雨と晴れ、どっちが好きですか。

A. 20 と、尋ねられれば、間をとって、「曇り」という答を予想しての問いですか。

Q. 21 そろそろ最終レポートのテーマを設定していきたい。

A. 21 そもそも「中世哲学はあるのか？」というのはどうでしょうか。もちろん、このままで
40
45
50
55
60
65
70
75
80
85
90
95
100
105
110
115
120
125
130
135
140
145
150
155
160
165
170
175
180
185
190
195
200
205
210
215
220
225
230
235
240
245
250
255
260
265
270
275
280
285
290
295
300
305
310
315
320
325
330
335
340
345
350
355
360
365
370
375
380
385
390
395
400
405
410
415
420
425
430
435
440
445
450
455
460
465
470
475
480
485
490
495
500
505
510
515
520
525
530
535
540
545
550
555
560
565
570
575
580
585
590
595
600
605
610
615
620
625
630
635
640
645
650
655
660
665
670
675
680
685
690
695
700
705
710
715
720
725
730
735
740
745
750
755
760
765
770
775
780
785
790
795
800
805
810
815
820
825
830
835
840
845
850
855
860
865
870
875
880
885
890
895
900
905
910
915
920
925
930
935
940
945
950
955
960
965
970
975
980
985
990
995

西洋中世哲学史 第 11 回 (2018.07.24.)

Q. 1 中国哲学の授業で、加地伸行先生の著書を読んだ際、「宗教とは、死ならびに死後の説明者である」と言っておられました。赤井先生は、「宗教」をどのように捉えますか。

A. 1 二畳庵先生ですね。religio (ラテン語) の意味から考えると、何かと何かを結び付けるもの、最近、授業で出てきた言葉を使うと、「自然理性の光」で照らされてわかるものと、そうでないものを結び付けるもの、でしょうか。しかし、そういう宗教(現象)を学問的に取り扱うのは、宗教学、宗教哲学などで、これ自体は宗教ではありません。

Q. 2 Lux は創造主のみと言っていたが、至福者たち(天使?)には、どちらを用いるのか?

A. 2 用いる、の意味によりますが、Lux の根源性を強く解すると、天使も被造物ですから、Lux を発するのは、創造主のみという意味です。

Q. 3 アリストテレスの『形而上学』(出隆、岩波書店)で「不動な実体」について論じられているとき「エイドスと数学的对象(質料のことなのでしょうか?)を一つの実在に帰す」という表現があったのですが、「ひとつの実在に帰す」というのが何を意味するのか分かりませんでした。

邦訳ばかりに頼っていては「お前の勉強は既に死んでいる」と言われてしまうかもしれませんが、これから何とか外国語を頑張っていこうと思います。

A. 3 日本語の問題ですね。「A を B に帰す」というのは、「A を B に由来するものと考え」とか「A と B を同じものとみなす」ということでしょう。「数学的对象」は、「質料(ヒューレー)」ではありません。むしろ「形相(エイドス)」でしょう。しかし、思惟の対象としては、「素材・質料」的なものではありません。

邦訳でも、その本のページ付けとは別に、ベッカー版のページ数と a, b の別が欄外に記載されていると思うので、それをメモしておくとういいます。例えば、1073b とか。

Q. 4 上位の学の光によって下位の学の原理ができるとあって、下があつて上位のものに発展していくのではないんだなと思った。

Q. 4' 学において、上位である神に関するものと、下位である人間のものがありますが、上位と下位と分けられていることから、学そのものの価値に差は存在したのでしょうか。

A. 4, 4' 学と学の関係は、はっきりしています。新しい学が作られることを想定していないようですが、仮に新しい学が作られても、その学もやはり、既存の別の学から原理を受け取っていれば、その既存の学がより上位の学、ということになります。

どの学であれ、必要に応じて営まれる(興味関心に駆られて、とううことも含めて)、とは思っていますが、学そのものの価値の差をということ考えたことがないので、どういう意図でそういう発想をするのか、逆に質問したいところです。

Q. 5 知性の自然本性的な光や上位の学の光と言うときのこの'光'は、自然学での研究で分かるようになった光から、その意味をとったのですか。神の学を言うために神学から用いてきて使い始めたのですか。

A. 5 聖書に「光(パオス)」が、象徴的に使われているのが、古いですから、「光」ということばが使われる、直接的な由来は、聖書にあるかもしれませんが、その後、いわゆる、自然科学的な「光学」の研究も行なわれるのと同時に、実験によるのではない(形而上学的な)思索も加わって、「光の形而上学」ともいべきものがあらわれます。

Q. 6 「死」や「生」に関連する、読むべき書籍はありますか。ジャンケレヴィッチの『死』は読もうと思っています。

A. 6 ジャンケレヴィッチ、読んで下さい。フランス語ですね。

Q. 7 ドイツ語の翻訳をしぶとくしていると、気持ちだけかもしれませんが、少し訳せるようになったように思います。それでもまだ読めたものではありませんが...

A. 7 しぶとく続けて下さい。日本語の表現力を向上させるために、用例のある国語辞典や、日本語の類義語辞典、それからドイツ語の『不変化詞辞典』が必要になると思います。

Q. 8 大学に入学して、一年経つけれども、いまだにレポートの書き方が分かりません。レポートについてですが、pdf ファイルにある人たちが話し合っている内容を批判するということですか。

5 A. 8 レポートにせよ、卒論にせよ、課題（問題）を設定してそれに、根拠を示して答えるのが基本ですが、誰を読者として想定するか、意識して書いて下さい。本来は、従来言われいないことを主張するか、既存の説を批判して、新しい説を主張するために書くのですが、そこまで至らなくてもよいので（結論がでなくても仕方がない）、自分が疑問に思ったことがらをテーマにして、調べたり、考えたりしたことを書いて下さい。

10 Q. 9 自分は論理的に話すのが苦手だ、と感じることがあります。話していることが人に理解されないことが時々ありますし、自分で振り返ってみても、行き当たりばったりで話しているように思えます。論理的に話すコツは何でしょうか。

15 A. 9 全体として何を言いたいのか、あるいは、何を明らかにしたいのかを確認しておいて、具体的には、ひとつひとつの発言の内容を確認して、次の発言との論理的整合性を確認しながら話すしかないでしょう。そのひとつひとつの発言の論理的関係を示すのが、接続詞の役割で、「しかし」「けれども」「ところで」「従って」「そうであれば」などを正しく使うことを目指して下さい。

Q. 10 昨今、理高文低の考え方が一般的には強く普及しています。理系がとても有難い存在なのは自分も分かりますが、僕は納得出来ません。文系は今後の社会でとても大切な役割を担うのではないかと思いました。

20 A. 10 どのような仕方で「大切な役割を担う」のかを、示してやらないと、理系派は納得しないでしょう。もっとも、説得する相手は、実害があるかどうかという点で、学内では、理系の連中、学外では（国内外を問わず）、文教政策にかかわる政治家、ということになります。文系の学問、特に、哲学（ただし、哲学が文系かどうかは、私は簡単に言えないと思っています）は、理系の学問（理系の学問に限りませんが）の枠組み、発想そのものの変更をせまる力をもっている（ただし、短期的にはなくて、50年、100年というちょっと長めのスパンで）、という主張があります。最近では、例えば、下記の、第二章 文系は役に立つ を参照（哲学の専門家が言っているのではないのですが）。

吉見俊哉、2016、『「文系学部廃止」の衝撃』、集英社新書。

30 Q. 11 物事について調べる時、一つの情報に限らず複数の書籍やネットなどの情報源を求めて、それらを総合して、頭の中で練ってから自分なるの答えを出す、といった形で調べごとをするのですが、先生の場合、例えば、アリストテレスの形而上学（ママ、『形而上学』）など、何か一つのものについて研究する際はどれくらいの情報源を漁りますか？

35 A. 11 アリストテレスの『形而上学』を読んだり、その一部を引用したりするときには、何しろ、2400年くらいの歴史がありますから、翻訳や註解、研究書がたくさんあるので、全部をフォローすることはできません。しかし、まず、ギリシア語原典の校訂本を数種類、英独仏伊（西）訳などの近代語訳と、近代語で書かれた注釈書（英独仏が最低限）、ギリシア語で書かれた古代の註解、ラテン訳とラテン語で書かれた註解、それに、日本語訳2～3種類、というところでしょうか。しかし、何よりもまず、ギリシア語原典を読むことです。

西洋中世哲学史 第 12 回 (2018.07.26.)

前々回=第 11 回 (2018.07.24.) のコメント追加

Q. 1 最近すごく暑いです。テレビのニュースでは、毎日のように〇年に一度とか〇十年ぶりの暑さというのを耳にしますが、このセリフ毎年言ってませんか。

5 A. 1 そうですね。でも、地球 46 億年とすれば、これまでに、全球凍結や、小惑星が衝突したときなど、表面が 2000 度以上になりましたから、こんなもんじゃなかったのが平気です、という生物もいると思います (地下に)。

Q. 2 ベランダから見た青空と雲がとてもきれいでした。セミの鳴き声も耳に入りました。先生が夏だと思うのはどういったときでしょうか。

10 A. 2 須磨 (神戸) の実家のベランダから、遠くに海 (神戸港, 大阪湾) をながめるとき、夏に限らず、それぞれの季節を感じます。西条は、夏と冬しかありませんから。

Q. 3 先生の夏休みの予定が知りたいです。どこか旅行に行ったりしますか？

15 A. 3 徹底して授業に関係ありませんね。特に予定はありません。毎月、神戸に帰っているし、でも、未定ですが、ひょっとして、用事で富山大学に行くかもしれません。(金沢大学と新潟大学には行っているのですが、その間の富山大学に行く用事がこれまでなかったの)。

第 12 回 (2018.07.26.) のコメント

Q. 1 最近ビザンツ帝国の歴史に関心があります。

A. 1 私にはわかりませんが、ギリシア語の知識が必要でしょうね。ペトラルカやボッカチオのところへは、ギリシア人がやってきて、ギリシア語の書籍と知識をもたらしたようです。

20 Q. 2 私は別の授業のレポートで明治の思想について書こうと思っており、4冊ほど借りて読んでいる最中です。

A. 2 明治期の哲学・思想関係で、私が気になる人は、西周、狩野亨吉です。ショーペンハウアーに怒られそうですが、下記の書物に直接引用された文章によって偲ぶばかりです。西周のことは、西の講義が書籍化されたものの他に、

25 麻生義輝, 2008(1942), 『近世日本哲学史』, 書肆心水 (近藤書店)。

狩野亨吉については、

安倍能成 (編), 昭和 33(1958), 『狩野亨吉遺文集』, 岩波書店 (非売品)。

上山春平, 1998(1971), 『日本の思想 土着と欧化の系譜』, 岩波書店 (サイマル出版会)。

30 Q. 3 今回の話で、学生に卒業論文を書かせる中で、論証が不十分のまま、ある意味¹無理やりに「論」を立てさせるようなことがある、といったニュアンスの話があったと思いますが、僕は最終的な論や説にたどりつかなかったとしても、実証的な研究成果の積み重ねを論文にした方がいいと思います。無理やりに卒「論」を作ってしまうと、研究史的にも混乱を招きかねないと思います。

35 A. 3 「論」を立てさせる、というより、指導する教員にもよるでしょうが、教員がさせるわけではないのに、学生がやってしまうことがある、という意味です。私は、基本的に、ああしろ、こうしろ、とはよう言わないので、自由に書いてもらっていますが、口述試験でダメだしをして、書き直しを求めることはあります。

Q. 4 先日「宗教」に関して質問した際の加治先生の著書は『儒教とは何か』です。

¹ある意味で、のほうがよい。

A. 4 ご教示, ありがとうございます. 『中国人の論理学』, 『漢文法基礎』ではお世話になっています. 『漢文法基礎』は, オリジナルのZ会版と, それのハードカバー版と, 講談社学術文庫版と, 3種類もっています.

Q. 5 subjective genitive と objective genitive はどこかで聞いたことがある気がした.

5 A. 5 大学2年なら, どこかできいていて当然ですから (私が講師をしていた塾では, 高校生に教えていた), ヨーロッパ語の本を読んでいて, 属格や所有格がでてきたら, これは, S. G. か O. G. か, これら以外の属格か, といつも考えているはずですよ.

Q. 6 「音楽は算術によって知られる原理から出発するのである」とあるのですが, この場合の音楽の原理というのは物理学の波のはどのようなものだと考えていいのですか?

10 A. 6 ちがいます. 音は波にはちがいないのですが, 三度音程とか五度音程とか, 不協和音とか, 和声学に関することは, 比率が問題なので, ここでは, 物理ではなくて, 算術が想定されています.

Q. 7 最終レポートの提出は8月中旬頃とのことでしたが, 提出方法はメールでよいでしょうか?

15 Q. 7' 最終レポートについてなのですが, 題材は授業で扱ったものしかダメでしょうか?

Q. 7'' 「ゆえに」「よって」が数学的な論述に際してのみ使用できることは知りませんでした. それよりも最終レポートを何かいたらいいか分かってません (決まってる).

A. 7, 7', 7'' レポートの提出はメールで結構です. 8月15日までをお願いします.

20 レポートの題材は, 題材は授業で扱ったもの以外でも, これは西洋中世哲学史と言える, と自分で判断したものならばかまいません.

テーマが決まらなければ, 予備レポートを完成させる, というのもかまいません.

Q. 8 学問の優劣をつけるのは自分は馬鹿馬鹿しいというか無意味だと思うんですが赤井先生はどう思われますか.

25 A. 8 私も意味がないと思います. トマスがいう, 上位とか下位というのは, 優劣ではなくて, その学が原理をどこから得ているかという諸学の間を言っているだけだと思います.

Q. 9 文系の学問の意義を歴史学的観点からとらえられるのではというのが面白かったです.

Q. 9' 文系理系の区別と今日の授業を聞いて, 音楽も以前は文系に入ると思っていたが, 算術を原理とすることや先輩が専門にしている音楽理論を聞いて分けられないなと思った.

30 Q. 9'' 文系理系について20年以上も前に確か東大新聞に弁護士が文系の為に理系の貴重な発明などの成果がたくさんもれているのが残念だと, 問題になっているという記事がありました. が, 何故いつまでも理系文系と分けるのか大変違和感があり抵抗を感じます.

A. 9, 9', 9'' 「文系の為に」というのは, 「文系のせいで」理系の貴重な発明がうもれている, ということでしょうか.

35 Q. 9''' 理系派目に見える形で役に立つが, 文系も目に見えない形で長めのスパンで役に立つというお話にとっても納得できました.

A. 9''' が, しかし, いつかは (長い目で見て, in the long run) やはり, 目に見える, のではないでしょうか.

40 Q. 10 プラトンの「イデア」をプラトンが言ったわけではないというのがおもしろかったです. 歴史学でもその文書ではいっていないのに, 現在の研究者が名付けているケースがあります. そのせいで文書が本当は何を語っているのか, その本旨でなくなるので困ります.

A. 10 たしかに, 困りますね. それで, 20世紀末から, 「イデア論」と言わずに, 少しボカして, 「イデアの論」とか言っているプラトン学徒がいますが...

Q. 11 哲学書であれ何かと学問書の翻訳がいくつも出ているとき, 何が正しい翻訳なのか, どれ

を読んだ方がいいのか、ということはどうやって判断すればよいのでしょうか。

A. 11 自分より、その分野に詳しい人がいれば、その人に意見を求める。自分しかなければ、記述に論理的整合性（筋が通っているかどうか）があるかどうかを見る。自分なるほどと納得するかどうかとは別の問題です。しかし、困るのは、論理的整合性があっても、誤訳している場合もあります。

Q. 12 キリスト教にも輪廻の思想が昔はあったとききました。色々な宗教に共通項があるので、おもしろいです。

A. 12 私には、専門的にはわからないので、宗教学や宗教史（たとえば、キリスト教史）の研究を調べて下さい。ただ、私の知るところでは、キリスト教にも、仏教にも、それらの成立以前に、その土地に土着の古い宗教があつて、その宗教には、輪廻転生の考え方があつたけれども、キリスト教自体になく（また、仏教自体にもなく）、キリスト教は、それを受け入れないで成立し、仏教はそれを受け入れて、むしろ、それからの解脱が重要なテーマになっている、ということではないでしょうか。

Q. 13 外国語を学んでいると、日本語の能力の差が外国語学習にも影響を与えているなと思うことがあります。

A. 13 その通りで、一旦、母国語を介して外国語を学ぶ場合は、母国語の運用能力を高めないと、学習中の外国語の運用能力は母国語のそれ以上にはならないのです。

Q. 14 「神がもっている知」は一般に言われている「全知」でしょうか。

A. 14 そうですが、その内容については、人間にはわかりません。きわめて部分的にそれと与ることができるだけです。

Q. 15 説得するときや、納得してもらうときは、三段論法が効果的だなと思いました。

A. 15 西洋古代から中世は、ずっと、その三段論法 (syllogismus) でやってきたわけです。

西洋中世哲学史 第 13 回 (2018.07.31.)

Q.-3 授業とは関係ないですが、先生は早婚についてどう思いますか。最近友達が早く彼氏と結婚したいという話ばかりしてきて困っています。

A.-3 本人の問題ですから、したければすればよんではないですか、としか言いようがありません。

Q.-2 先生は、小説はあまり読まれないですか？ もし読まれるなら、最近良かった本を教えてください。

A.-2 あまり読みません。高校とのきは、高橋和己の長編や、高橋たか子のものは、エッセイまでほとんど全部よみました。

10 最近は、時間がないので、短編で、以下のもの。

吉村昭, 2000, 「梅の蕾」, 『遠い幻影』所収, 文春文庫, pp. 9-32.

とくに, pp. 28-29 は, 何回読んでも泣けます。

宮下奈都, 2017, 「なつかしいひと」, 『つぼみ』所収, 光文社, pp. 151-176.

とちゅうからネタバレしてありますが, わかった上で, 読んでしまいます。

15 Q.-1 ホチキスの止める位置については、今まで全く気にしたことがなかったのですが、理由を聞いて納得しました。

A.-1 今後 (在学中も, 勤め先でも), 資料などを綴じるときには気を付けて下さい。また, もう私が, 哲学史の授業中に, 手書きアニメーションで説明しなくてもよいように, 後輩達にも理由とともに教えておいて下さい。そうでないと, 北斗神綴 (しんてつ) の綴四郎に, 「お前の綴じた資料はすでに死んでいる」と言われるかもしれません。

20 Q.0 この講義は、哲学史を学べることはもちろんですが、レポートの正しい書き方を学べることが大いに自分の為になると思いました。

A.0 哲学史の部分が少なくて, 大変申し訳ありません。

25 Q.1 先生は、死刑において焼き殺すことが一番くるしいとおっしゃっていましたが、日本以外の国で中世ではギロチンが主流だったのですか？ 焼き殺しも同じくらい行なわれていたんですか？

30 A.1 歴史関係の書物によって, 事実関係を確認して下さい。ただ, 2点ほど, 確認するべきは, ひとつは, 単に火刑ということではなくて, とろ火の刑とって, 長時間かけて, 苦痛を増す刑が一番苦しいだろうという点。これは, カルヴァンのことを調べていると, よくでてくる話です。また, 処刑装置としてのギロチン²は, フランス革命のときに使用されたのが有名で, それ以前にもあったのかもしれませんが, 主流ではないのではないのでしょうか (そもそも, なかったかもしれない)。

東洋では, 岩波全書の『中国法制史』のはじめに, 処刑の図案がいくつか掲載されていたのを思い出します。

35 Q.2 「論理の世界 数学の世界」だけがあれば良い, 人間はいらないっていうのは極端すぎやしないだろうかと思いました。

Q.2' 人間がいなくても成り立つ論理の世界を考えていると, なぜか一番に SF にあるような肉体がなくても脳だけで思考させる世界が思いうかびました。

40 Q.2'' 「論理の世界」「数学の世界」という言葉がごまかしに感じる, というのが理由はわからないけどかっこいい感性だなと感じた。

A.2, 2', 2'' むしろ, その極端なところがボルツァーノの魅力ですが, 人間なんかいなくても数学の世界だけがあればよいと思うほど, ひどい目にあわされていたのではないかと思います。

²Guillotín, ギヨタン, 提案者の名前。ギロチンは英語読み。

SF のイメージですが、脳も物質ですから、その脳もない世界が想定されているわけです。そういうこと想定する人も、もちろん、存在しませんが..

Q. 2'' ジークヴァルトの主観の必然性に対するフッサールの批判がわかりづらかったです。それぞれの判断に立ち表われる（ママ、現われる）確信の主観的強制から、何かルールに従って価値判断するような洞察がジークヴァルトの場合は区別できていないということを言っているのですか？ 自分でも何を言っているのか整理が追いついていません。

A. 2'' フッサールは、自分のことは棚に上げて、ジークヴァルトのは主観的だと言っているのでしょうか。では、フッサールのは、というと、超越論的だとか、イデア的だとか、言って、少なくとも、ジークヴァルトのような主観的なものではない、と言いたいのでしょうか。

Q. 2''' フッサールがギリシア語でイデア論のような主張をごまかしているというのはおもしろかったです。

A. 2''' ちょっと、いじわるな言い方ですが.. ギリシア語（由来のドイツ語）で言わないで、本来のドイツ語で言え！ということですか。言えないんなら、分かっているんだらう、お前！という気持ちです。

Q. 3 哲学をやっていくなら、やはり原典をよまないとだめなのでしょうか。ドイツ語、ギリシア語などを今になって始めるようでは遅いように感じます。

A. 3 ひとりひとりにとっては、そのことに気づいたときが、その人の人生の中では、一番早い時期なのですから、今からでもできるところまでやりましょう。

Q. 3' レポートの書き方がいまいまだ分かっていないので早くマスターできるようになりたいです。そしてドイツ語の訳し方もいまいまだ分かりません。全て前から訳せばいいというわけではないですよね？

A. 3' 前からも訳せ、後ろからもどって訳し上げることも、両方できるようになった上で、適切なほうを選べるようになってください。ドイツ語に限りませんが、A. 17, 17' も参照。

Q. 4 我々の分野の話ではないけれど、卒論には今後勉強する人のために資料を発掘する目的もある、というのは目からウロコの話でした。

A. 4 単に資料というのではなくて、大きな著作のある章について、原典の読解と註釈の成果を卒論や修論にしておくと、後輩が、その他の章に取り組み、取り組んだ時期はことなるけれども、何人かで、その著作全体を読解することになる、というパターンは、有り得ます。

Q. 5 論理的整合性があるかどうかを見分けることは難しいように思えた。

A. 5 しかし、哲学の場合は、それこそが武器です。ですから、哲学を専門とする学生の学士課程（学部）では、西洋古典語（ギリシア語・ラテン語）と論理学を必修にしたいところです。（これらはどれも、何か原典を読んだり、論理的に考えるのに役立つ、というよりは、これらを学ぶこと自体が、論理的整合性をもって考えて、それを表現するための訓練になるからです）

Q. 6 要約・縮約を習った授業があるのですが、文字数をかなりすくなくした縮約でも間接引用と考えてよいのでしょうか。

A. 6 間接引用です。

Q. 7 引用の書き方なんですが、講義資料からの引用は「 」ですか？ 文献は『 』だと思うのですが、例えば、

文献

M_2 「哲学と哲学史について」

「 」 なしでいいですか？

A. 7 なしでもよろしいが、本、著作の書名に『 』を用い、それ以外のもののタイトルは、「 」を使えばよいでしょう。例えば、で言われているのは、C_2 だったと思いますが、『哲学入門』の

中の、ひとつの章のタイトルですから、「哲学・哲学史について」ということになります。

Q. 8 論文執筆において、「形式」と「内容」どちらが優先されるのでしょうか。例えば、「日本語に多少誤用があったり、引用の仕方が間違っているが、内容には目を見張るものがある A」と「形式は非の打ち所がないが、内容はきわめて平凡、または並以下の B」とでは、どちらが評価されるのでしょうか。

A. 8 それは、その論文を審査したり評価したりする組織・主体が何か、誰か次第でしょう。学内で、単位や卒業の認定のための評価をするなら、内容が重要でしょう。ただし、書式の不備を修正し、書き直しを求められることでしょうか。しかし、学外で（ということは、院生や研究者が）学会誌などに応募するときには、その学会が指定する書式・形式が整っていなければ、受理されませんから、そもそも、どんなに優れた内容でも読んでもらえません。つまり、形式・書式が入り口なのです。形式が整っていて、受理されれば、次の段階としては、内容が評価の対象になることはもちろんです。

Q. 9 たしか、赤井先生は24歳のときにラテン語で論文を書いていらしゃったと思います。どんなテーマだったのですか。

A. 9 書いたのも、大学に提出したのも、実際には、23歳のときだと思います。Web上に公開していますから、読んで下さい（ラテン語で）。

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/akyah59/index.l.temp.shtml>

↓

https://home.hiroshima-u.ac.jp/akyah59/De_Doc_Arist.html

Q. 10 先生が怒るところを想像できません。先生が生涯で一番激昂したことはなんですか。

A. 10 うう～ん、怒ると、内にこもって、かえって静かになるのですが... 以前、ある先生が、ある院生（当時）に向かって、「ハゲ！ カッパ！」と連呼したのを、その場にいあわせた他の院生も確認しているのですが、私は口にも表情にも出しませんでしたが、心の中で、怒ると同時に、そんなことを言う人を軽蔑しましたが、このときの「許せん！」という怒りが、怒りの度合として、かなり高かったと思います。公開するあてはありませんが、そのときのことを文書にして記録しています。しかし、その後、名前は出さずに、この件を何人かの学生に、こういうことがもしあったら、どう思うかと話したとき、ある学生が「その先生って、おっちゃめ～」というので、あきれると同時に、こういう手合いがいるから、この手の教員が存続しているんだ、と思いました。ちなみに、その先生のギリシア語やラテン語の知識は、「ハゲ」でいるようです。

Q. 11 筑波大学は特別なでき方をしたとは初めて知りました。広島大学と筑波大学は、よく並んで話に出てきますが（おそらく師範学校を母体とし、今も由緒正しい教育学部を売りにしているため）そのことについて先生はどうお考えですか。

A. 11 小学校、中学校はともかく、高校の教員は、教員養成系以外の出身の教員のほうがおもしろいと、自分が高校・大学のころから思っています。

筑波大学の件については、検定不合格日本史で有名な、家永三郎先生の『東京教育大学文学部』という本で、その成立から閉学の経緯を知ることができます。これは一時期、愛読書でした。今は、家永さんの『著作集』だか『全集』で読むことができますから、関心のある人は、是非、一度読んでください。

Q. 12 日本史の論文は縦書きなので、横書きの論文とルールが違うのが難しいなと思いました。

A. 12 日本史学や日本語学日本文学の先生たちが書いている論文や本の書き方をみて、それをまねすればよいでしょう。もし、可能ならば、この授業のレポートも、練習のために、縦書きで、三頁。とか、二十五～三十二頁。書いてもらってかまいません。

Q. 13 数学は高校までは楽しいのですが、大学からは楽しくないとききます。なぜなのでしょう？

A. 13 私は数学が専門ではないからかもしれませんが、高校までは、『大学への数学』とか『数学セミナー』とかいう雑誌を覗いてみて、高校の範囲ではここまでしかできないが、この先があるのか、という期待はあっても、時間内に解答をつくるのが主な作業で、楽しくもつまらなかったように思います。大学では、教養科目の数学の授業しか知りませんが、高校の数学よりもおもしろかったと思います。もっとも、理学部の数学科へ行くと雰囲気がちがうのかもしれませんが...

Q. 14 文学部の入試科目配分にも、様々な議論があったことが分かりました。自分は数学が苦手、社会系で割と助かったクチですが、研究に必要な資質を見分けるのは難しいと感じました。

A. 14 数学が苦手な人も、そうでない人も両方いる環境がよいと思います、お互いに、違う発想をぶつけ合うところに何か（よいこと）がありそうな気がしますから。

Q. 15 西洋中世哲学史を学んできて、宗教的要素が何度もからんできましたが、自分の宗教に対する考えとは切り離して考えなければならないと強く感じた。

A. 15 その通りですね。それは、宗教に関することだけではなくて、何であれ、研究対象をつきはなして、自分の立場とは別に、考察を加える態度、というか、余裕がなければ、研究はできないので。

Q. 16 アウグスティヌスもトマス・アキナスも、神は全ての存在の創始者（設計者？）であり、人間に「理性」であるとか「啓示」であるとかを「与えて」くれるものだと考えていたと思っ

A. 16 アウグスティヌスにとっても、トマス・アキナスにとっても、神は創造主（すべてを創造する）であるということは、そう考える、というよりも、信仰の対象だったはずで、その上で、神学、哲学を展開することになるので、究極的には、（被造物）、自分の研究対象（被造物）、それに神（創造主）という3項関係で考察する必要がありますが、前述の信仰がない場合は、自分と自分の研究対象という2項関係で考察するだけでよいことになります。そうだとすると、哲学史を見渡した場合、信仰なしに、2項関係で考察している連中よりも、3項関係で考察しているトマスらのほうが、複雑で高度なことをやっているわけで、私たちが、かりに、2項関係で考察するとしても、トマスらから学ばない手はありません。

Q. 17 日本語のニュアンスの難しさ、レポートを書くたび感じます。

Q. 17' ある意味で や けれども など 他にも間違っ

A. 17, 17' 日本語でどう表現するか、については、次の本も、時間のあるときに見て下さい（IV 正確で読みやすい文章を、p. 149 以降）、別の出版社から再版されたものなど、図書館には数冊あるはずで、英語以外の翻訳の問題についても、学ぶことの多い本です。

横井忠夫、1971、『誤訳 悪訳の病理』、現代ジャーナリズム出版会。

もう少し手軽には、

別宮貞徳、1985、『翻訳と批評』、講談社美術文庫。

ロシア語が中心で、普通には、入手しにくいかもしれませんが、

藤井一行、2012、『翻訳の品格 “新訳、にだまされるな”』、著者自家出版会。

西洋中世哲学史 第14回 (2018.08.02.)

Q. 1 哲学の基礎的な知識がなければ分からない単語が多かった。

Q. 1' 最終授業との事ですが、内容が難しく理解することがなかなかおいつきません。

A. 1, 1' 基本的な用語解説をもっとするべきであったと反省させられます。貴重なご指摘をありがとうございます。

ただ、現今の授業評価とかいう制度では許容されないかもしれませんが、私が学部生だった頃は、旧制高校、旧制の帝国大学出身の先生がまだ教えておられて、自分の授業内容は、文学部の助教授(当時の名称)や講師、助手(当時の名称)が、そこに座って聴いていても、なんら差し支えない内容なので、今、諸君にはわからないかもしれないが、もし、諸君が、研究を続けて、二十年、三十年経てば、ああ、そういうことだったのか、とわかるようなレベルの授業をしているから、そのつもりで受講するように、と言われたのを思い出します。たしかに、某大学の某先生の授業には、他の大学の先生たちが、(いわゆる、もぐりで)聴きに来て、私たちと一緒に講義を聴いておられました。そして、事務方もそれを知っていても黙認しているようでした。

Q. 2 自ら学ばないと大学生にはなれないんですね。専門学校は校がつくのでなるほどなと思いました。

A. 2 教えてもらおうとか、指導してもらおうとかいう発想はしないで、みなさんは自発的に学んで下さい。

Q. 3 私も、高校の先生は教育大や教育学部を出た人より、それ以外の学部を出た先生の方が、おもしろいと思っています。教員免許を取ろうとしている同級生は、自分の専門の授業と教員の授業に追われて大変そうですが... それ以外の学部を出た先生の方を好ましく思うのは、周りに様々な将来を描く人達がいる(教員養成だと周囲の多くは同じ目標のため)いろいろな生き方を知っている点や、教えるために学んだのではない純粋な研究によって身につけた知識を持っているからだと思っています。

A. 3 そうですね。高校生は、いろいろなことを考えている先生たちから、いろいろな世界や分野があることを知るのですから。私の高校時代にも、フランス語の先生になりたかった英語の先生とか、大学で物理の研究をしていたけれども健康を害して、高校の数学教師になった先生とか、政経の授業なのに、アメリカの高校の教科書(英語)を使う先生とか(英語の授業が増えた)、高校倫理の資料集を執筆している、ニーチェやショーペンハウアーが専門の先生で、教科書を無視して、今から思うと、デイルタイの世界観から始まる、大学のような講義をして、試験問題はというと、「カントの格率について論ぜよ」という、まるで大学のような試験問題を出す先生とかいました。また、私の在学時にはもう解散してしまっていたようですが、高校生の、ではなくて、先生たちの自発的なクラブ活動みたいなものがあって、ドイツ語研究会、というのがあったそうです。漢文の先生の中には、中国文学の某著作集の月報に執筆している先生もいて、そういうのを、図書館で読むと、すごい、と思いました。その先生は、返り点の説明をするときに、漢文を頭から、中国語で読んで聞かせてくれました。

Q. 4 この授業のおかげで毎回ごちゃごちゃだったレポートの書き方が正しく統一されてきました。大変ありがたいです。

A. 4 提出先の要求する書式にあわせて書く柔軟性も要ります。

Q. 5 哲学に普遍的意義や意味はありますか。

40 哲学は哲学としてそこにあるだけで、普遍的な意義・意味はないのではと考えます。

あると思えばあるだろうし、なんと言えいいでしょう。もっと自由なものだと思います。と、定義することは意味づけしていることになっているでしょうが。

A. 5 「哲学」という言葉をどういう意味で使っているのか、一度、自分で考えて下さい。学としての「哲学」をやっていないのに、(おそらく広い意味で)哲学をやっている、と勘違いして

いる人が多過ぎて迷惑です。

制度上の分野としての「(西洋) 哲学」と「倫理学」の違いは何ですか？ 倫理学分野に所属する人が「哲学」をやっていると言うときは、分野としての「(西洋) 哲学」のつもりではないですよ？ 以前、別の機会にも言いましたが、分野としての「哲学」をやるには、(自分の頭で問題を考える)「哲学」と(同時代も含めて過去の哲学の著作を読んで正確に理解する)「(西洋) 哲学史」の両方の能力が必要ですが、具体的には、学部のところから勉強を始めたとする、哲学史の研究と、自分で考えるトレーニングのために、英語、ドイツ語、フランス語、ギリシア語、ラテン語の5カ国語は、最低限学ぶとともに(文法を学びテキストを読む)、論理学もある程度(大学で提供されている内容)勉強しておく必要があります。こういう学習にとりかかっている最中の人

10 は、「哲学」をやる準備をしている、とは言えても、「哲学」をやっているとは言えません。もちろん、学としての「哲学」を、です。自分で勝手に「哲学」をやっていると称するのは自由ですが、学問的には、「哲学」の門前で、中に入ることができず、「哲学」のそとでうろろうろしているに過ぎません。

これまで、あっちこっちで、しばしば引用してきたので、またか、という人もいるかもしれませんが、プラトンが次のようなことをソクラテスに言わせています。みなさんは、どう思いますか。耳の痛い人³もいるのではないかと思います。

Τὸ γοῦν νῦν ἀμάρτημα, ἦν δ' ἐγώ, καὶ ἡ ἀτιμία φιλοσοφία διὰ ταῦτα προσπέπτωκεν, ὃ καὶ πρότερον εἶπομεν, ὅτι οὐ κατ' ἀξίαν αὐτῆς ἀπτονται· οὐ γὰρ νόθους ἔδει ἀπτεσθαι, ἀλλὰ γνησίους. [Plato, *Respublica*, VII, 535C5-8]

20 「少なくとも、現在行なわれている間違いと、哲学にふりかかっている軽蔑とは、こうしたところから起こっているのだからね」とぼくは言った、「つまり、前にも言ったように、その資格もないような人々が哲学に手をつけているからなのだ。というのは、生まれのいかかわしい者たちがこれに手をつけてはならなかったのであって、正しい生まれの者たちにだけそれが許されるはずだったのだから」(プラトン『国家』7巻, 535C5-8, 藤澤令夫訳)

25 でも、そういう手合いは、こう言われても、俺のことか、と気がつかないものです。

Q. 6 数学のすごいところ、おもしろいところは、哲学以外の学問でおそらく唯一、数学自身を学問的対象として議論することができるところだと思います。

A. 6 数学自身を学問的対象とするというのは、基礎論や数学史以外では、どういう場合ですか。先行する学説を対象として批判検討することは、他の学問でもやりますし、「数学とは何か」という議論なら、「数学の哲学」も扱いますし、基礎論は、基礎論をやっていない数学者からは、

30 哲学っぽいから数学ではない、と思われて評判がよくないと思うのですが。

Q. 7 面白い意見を出しても受け入れられないのは残念だと思いましたが、それなりの理由があるはずだと思います。(が、それを一回性としてすてるより)面白いがそこまで助けにはならない文献 2018 ver. みたいなものがあつたらいいなと思いました。

A. 7 なるほど、そういう文献リストを作ること自体が、ひとつの業績かもしれませんね。そういう、面白いけど、いまいち、というのではなくて、哲学では(欧文に限りますが)なんでもすべて掲載する、という、一応、世界規模の、*Philosopher's Index* というのがあります。

Q. 8 結論よりも前の、結論の根拠という考え方はなかったです。

A. 8 アリストテレスの『分析論前書・後書』, トマスの『アリストテレス『分析論後書』註解』

40 の線のでてくる発想です。

³もつとも、そういう人は、プラトンのテキストを原典で読んだことがない、というか、読める学力がないので、プラトンにこんなことを言われていることも知らないかもしれませんが。せめて、翻訳で読んでほしいものです。

Q. 9 三位一体のそれぞれの言葉の意味について、もっと詳しく自分でも考えてみたいなと思いました。

A. 9 自分で、興味をもって調べてみて下さい。

Q. 10 ... 先生が紹介して下さった小説、夏休みのうちに読もうと思います。

5 A. 10 それもよいですが、原典でカントの『純粋理性批判』を最初から読める所までよむとか、同じく、原典でヒュームの『人性論』を最初から読むとか、ラテン語やフランス語の文法を独習し始めて、デカルトの『省察』(ラテン語・フランス語訳)や『方法序説』(フランス語)の本をのぞいてみる、というほうが良いと思いますよ。

10 Q. 11 レポートは書き始めるまでが大変だと思っていたが書き始めてからも大変だと実感しています。

A. 11 実は、書き終えてからもあれでよかったのかと心配になります。授業のレポートなら、自分と担当教員の間だけのことで済みますが、活字で公開してしまうと、その事実は消せませんから大変です。

15 Q. 12 2ヶ月間ありがとうございました。どんな質問にも丁寧に答えて下さってありがとうございます。また、先生の授業をとりたいと思いました。

A. 12 どういたしまして。自分の専門の授業にも力を入れて下さい。

Q. 13 1ターム、2タームとお世話になりました。ありがとうございました。

A. 13 レヴェルの低い授業しかできなかったのではないかとおそれています。申し訳ありませんでした。

20 Q. 14 長い間、有難う御座いました。

A. 14 もうこれでお別れの様ですね。

レポートの文体について (補足)

「よって」の意味については、すでに言及しましたが、一般に、接続助詞、接続詞の有無と、意味、ニュアンスの違い、というよりも、読み手に与える印象に配慮して下さい⁸。言い換えると、みなさんの年齢の人たちどうして通じる「ことばづかい」ではなくて、自分より年配の人に読まれることを想定して書け！ という事です。

具体的な例をあげると、この Q. & A. でも、「ある意味」という表現が使われることがありましたが (実際、他の文献でもよく見かけます)、「ある意味」は、これ自体では、名詞であって、口語では、ドイツ語の 4 格 (対格) 副詞のように、副詞的に「ある意味では」とか「ある意味で」というイミで使われています。それなら、「では」や「で」を略さずに、全部書け！ という事です。年配の読み手は、「ある意味」を、頭の中で「ある意味では」と補って理解しています。こういうことを読み手にさせるのは、読み手に charity を要求している、といいます。それが文学作品で、作者が意図して使っている手法であれば、それを使うのは作者の自由ですが、レポートや卒論などの学術論文では、余計なことであり、読み手に charity を要求するようなことをするべきではありません。そういうレポートを採点する立場に私があれば、減点します。この種の表現については、谷崎潤一郎の『文章読本』(中公文庫)を、まだ、読んだことがない人は、死ぬまでに一度は、それもできるだけ早いうちに手にとって読んで下さい。

次に、おそらくは、パソコンやワープロの漢字変換のせいで、やたらと何でも漢字で書く傾向がありますが、かつては、そして、いまでも、次のような原則に従って書いている人たちがいます。

動詞についてですが、動詞の目的語になる名詞が具体的な場合は、動詞も漢字で、抽象的な場合は、動詞は平仮名という区別です。例えば、次の例を見て下さい。

手に小旗を持つ。／ 寛容な心をもつ。

というように、です。この区別は、ある時期までの書き手によっては徹底しているので、他人の書いたものを読むときに、注意してみてください。ワープロやパソコンの使用が広まるにつれて失われつつあるのが実に残念な区別です。

なお、日本語の表記、表現、特に格助詞については、先に紹介した、

横井忠夫、1971、『誤訳 悪訳の病理 ミスを防ぐための α から ω まで』、現代ジャーナリズム出版会

の p. 150 などを参照。この本は、後に、違う出版社から再刊されていますし、図書館にも数冊あるようです。

⁸ 例えば、「実際」「実際に」「実際には」は、全部、意味合いが異なりますが、使い分けられますか。自分で使う前に、他人が書いた文章に出てくる場合、これらを読み分けることから始めるべきですが、ついでに、みなさんが、この Q. & A. に書く表現の中で気になっていることのひとつは、「文」と「文章」を区別していない人がいることです。ひとつの「文」を「文章」と言っている場合が目につきました。「文章」は、いくつかの「文」が集まったもの、という定義があります。